



福岡医発第 3106 号 (総)
平成 28 年 2 月 26 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松 田 峻一良
(公印省略)

平成 28 年度日本医師会生涯教育制度について

時下ますますご清祥のことと存じます。

生涯教育の推進につきましては、平素よりご理解、ご協力賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成 28 年度「日本医師会生涯教育制度」実施要綱が別添のとおり日本医師会より示されましたのでお送りいたします。

主な改正内容は下記のとおりですが、カリキュラムコード 1～15 の改訂並びに付与方法について変更されておりますので、それに伴い、従来ご提出いただいていた申告書の様式を変更する必要がありますが生じました。参考資料 2～6 をご参照いただき、平成 28 年 4 月以降実施の生涯教育講座につきましては、新しい申告書様式にてご申告いただきますようお願い申し上げます。

実施要綱の確定が遅くなり、貴会には大変お手数をおかけいたしますが、日本医師会生涯教育制度にご理解とご協力を賜りますとともに、本実施要綱につきまして、貴会会員各位にご周知くださいますよう、貴職のご高配方、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、本年度も引き続き、日本医師会においては、インターネットによる e-ラーニング、日本医師会雑誌問題解答、本会においては講習会、日医生涯教育協力講座セミナー、指導医のための教育ワークショップの開催等の生涯教育を実施してまいります。

また、講習会の情報および出欠管理を行う全国医師会研修管理システムが導入される予定ですが、詳細については通知があり次第ご連絡させていただきます。

記

1. 講習会等については、どの領域を何時間学習したかを明確にします。これまでは、2 時間の講習であれば 4 カリキュラムコードまで付与でしたが、基本的には、1 時間 1 単位 1 カリキュラムコードとするものです。ただし、講習会等の構成の自由度を保つために、最小単位は 30 分 0.5 単位 1 カリキュラムコードとなります。また 1 日の取得単位数の上限が撤廃されております。
2. 日本医師会生涯教育カリキュラムは、学習内容の見直しと新しい専門医の仕組みに円滑に適応することを目的として、カリキュラムコード 1～15 の改訂が行われました。新しいカリキュラム名は〈日本医師会生涯教育カリキュラム 2016〉となります。

3. 生涯教育on-line で配信しているコンテンツを受講し、セルフアセスメントにおいて、従来は正答率60%で単位等を付与していたものを、正答率を80%とした上で、1コンテンツにつき、1カリキュラムコード1単位を取得できることになりました。
4. 今後、生涯教育の申告は、都道府県医師会または郡市区医師会等が講習会・講演会・ワークショップ等（以下、「講習会等」という）情報および出欠管理を行う全国医師会研修管理システム（以下、「研修管理システム」という）に講習会等の出欠データを入力することで行うことが基本とされ、講習会情報や学習実績の管理、一括申告の支援等に対応した全国で利用できるオンラインシステムが導入されます。ただし、手引き等詳細がまだ公表されておらず、通知があり次第、本会で検討してご連絡申し上げます。

以上

参考資料

1. 平成 28 年度「日本医師会生涯教育制度実施要綱」
2. 講習会等の申告書類について
3. 申告書記入上の注意
4. 申告書記入例
5. カリキュラムコード一覧表
6. 参加証見本
7. 日医生涯教育制度の見直しと全国的な新研修管理システムの導入について

平成 2 8 年度
「日本医師会生涯教育制度」実施要綱

平成 2 8 年 2 月

日 本 医 師 会

I. 日本医師会生涯教育制度

日本医師会生涯教育制度は、医師としての姿勢を自ら律するという、プロフェッショナルオートノミーの理念のもと、医師の生涯教育が幅広く効果的に行われるための支援体制整備を目的として、昭和62年に発足した。その後今まで、数次にわたる制度の改正を行い、その質的向上と充実を図っている。

日本医師会は、日本医師会生涯教育カリキュラム＜2016＞を作成し、到達目標を示した。平成28年度からこのカリキュラムに則り、生涯教育を行う。

平成28年度の生涯教育においても、生涯教育カリキュラム＜2016＞の内容を取り入れるように努め、平成29年4月に平成28年度分の申告を行う際には、別紙1のカリキュラムコードと単位を申告することとする。

日医生涯教育認定証の発行間隔は3年間とし、3年間で単位数とカリキュラムコード数の合計数が60以上の取得者に日医生涯教育認定証を発行する。

また、1年毎に発行する日本医師会生涯教育制度学習単位取得証には、取得年度、取得単位数及び取得カリキュラムコードを記載し、過去3年間の取得単位数とカリキュラムコードを合算したうえで、上記日医生涯教育認定証を発行する。

1. 運営組織

日本医師会生涯教育制度学習単位取得証および日医生涯教育認定証の交付に係る事項等、本制度の円滑な運営を図るため、また、専門医共通講習・領域別講習の審査・認定を行うため、日本医師会に生涯教育・専門医制度運営委員会を設ける。

2. 生涯教育カリキュラムコード・単位の申告

生涯教育の申告は、都道府県医師会または郡市区医師会が講習会・講演会・ワークショップ等（以下、「講習会等」という）情報および出欠管理を行う全国医師会研修管理システム（以下、「研修管理システム」という）に講習会等の出欠データを入力することで行う。使用方法は、別途定める研修管理システムのマニュアルを参照されたい。対応が困難な場合は、従来通りの申告方法で行う。

研修管理システムを利用した講習会等は、診療報酬の算定に必要な証明書等の発行が可能となる。なお、新たな専門医の仕組みにおいて、専門医の認定・更新に必要な証明書等も発行が可能となる予定である。

2-1 研修管理システムを利用する場合

(1) 生涯教育申告者

申告者は毎年、「日本医師会雑誌」3月号に同封される申告書（別紙2）の「生涯教育単位等記入表」に1年間の取得単位及び取得カリキュラムコードを記入し、講習会等の参加証等を添付のうえ、4月末日までに所属の郡市区医師会に提出する。なお、研修管理システムを利用する講習会等については、出席が記録されるため、申告は不要となる。

（2）都道府県医師会・郡市区医師会

都道府県医師会・郡市区医師会は、講習会等の出欠データをその都度、研修管理システムに入力する。また、4月末までに届く自己申告分を研修管理システムに6月末までに入力する。なお、都道府県医師会は、郡市区医師会の集計状況について管理する。

（3）日本医師会

日本医師会は、研修管理システムに記録された学習単位及びカリキュラムコードに、日医 e-ラーニング等の単位・カリキュラムコードを加算し、個々の申告者について取得単位・カリキュラムコードを確定する。

2-2 研修管理システムの利用が困難な場合（研修管理システムを利用しない場合、診療報酬の算定に必要な証明書等および新たな専門医の認定・更新に必要な証明書等は発行できない。）

（1）生涯教育申告者

申告者は毎年、「日本医師会雑誌」3月号に同封される申告書（別紙2）の「生涯教育単位等記入表」に1年間の取得単位及び取得カリキュラムコードを記入し、講習会等の参加証等を添付のうえ、4月末日までに所属の郡市区医師会に提出する。

（2）郡市区医師会

郡市区医師会は、毎年5月末日までに上記申告書または一括申告データを都道府県医師会に送付する。

（3）都道府県医師会

都道府県医師会は、毎年6月末日までに、上記申告書または一括申告データを日本医師会に送付する。なお、一括申告データでの申告が望ましく、一括申告を行う場合の申告データの見本は別紙3のとおりとする。

(4) 日本医師会

日本医師会に送付された申告書・一括申告データに記載された学習単位及びカリキュラムコードに、日医 e-ラーニング等の単位・カリキュラムコードを加算し、個々の申告者の年間合計取得単位・カリキュラムコードを確定する。

3. 日本医師会生涯教育制度学習単位取得証の交付

平成27年度に0.5単位以上取得した生涯教育申告者に対し、日本医師会長は別紙4の「日本医師会生涯教育制度学習単位取得証」を平成28年10月1日付で交付する。

また、日本医師会雑誌を利用した解答（後述Ⅲ-1）、e-ラーニング（後述Ⅲ-2）の日本医師会で管理する単位・カリキュラムコードのみを申告している者についても「日本医師会生涯教育制度学習単位取得証」を発行し、都道府県医師会に通知する。

4. 日医生涯教育認定証の交付

毎年発行する「日本医師会生涯教育制度学習単位取得証」にて連続した3年間の間に取得した単位数とカリキュラムコード数（同一の取得コードは1コードとする）の合計数が60以上の者に、12月1日付で、発行日から3年間の有効期間を明記した日本医師会長名の「日医生涯教育認定証」（別紙5）を交付する。

なお、日医生涯教育認定証が発行された者については、日医生涯教育認定証が発行された年度の4月1日を起算日として、新たに単位・カリキュラムコードが累積されることとなり、有効期間が終了する3年後まで、日医生涯教育認定証は発行しない。

5. その他の証明書

研修管理システムを利用した講習会等は、診療報酬の算定に必要な証明書等の発行が可能となる。なお、新たな専門医の仕組みにおいて、専門医の認定・更新に必要な証明書等も発行が可能となる予定である。

Ⅱ. 日本医師会生涯教育カリキュラム<2016>

日本医師会生涯教育カリキュラム<2016>においては、旧「専門職としての使命感」と旧「継続的な学習と臨床能力の保持」を「医師のプロフェッショナル

リズム」に統合、旧「医療倫理」を「医療倫理：臨床倫理」と「医療倫理：研究倫理と生命倫理」に分割し、旧「公平公正な医療」を「医療倫理：臨床倫理」に統合したほか、旧「予防活動」と旧「保健活動」を、「予防と保健」に統合した。また、旧「医療の質と安全」を、「医療の質と安全」と「感染対策」に分割し、「災害医療」を新設した。

1. カリキュラム＜2016＞の内容

カリキュラム＜2016＞の一般目標は、「頻度の高い疾病と傷害、それらの予防、保健と福祉など、健康にかかわる幅広い問題について、わが国の医療体制の中で、適切な初期対応と必要に応じた継続医療を全人的視点から提供できる医師としての態度、知識、技能を身につける。」とされている。

また、行動目標は、以下のとおりである。

I. 総論

1. 医師のプロフェッショナルリズム、2. 医療倫理：臨床倫理、3. 医療倫理：研究倫理と生命倫理 4. 医師－患者のコミュニケーション、5. 心理社会的アプローチ、6. 医療制度と法律、7. 医療の質と安全、8. 感染対策、9. 医療情報、10. チーム医療、11. 予防と保健、12. 地域医療、13. 医療と介護および福祉の連携、14. 災害医療、15. 臨床問題解決のプロセス

II. 症候論

16. ショック、17. 急性中毒、18. 全身倦怠感、19. 身体機能の低下、20. 不眠、21. 食欲不振、22. 体重減少・るい瘦、23. 体重増加・肥満、24. 浮腫、25. リンパ節腫脹、26. 発疹、27. 黄疸、28. 発熱、29. 認知能の障害、30. 頭痛、31. めまい、32. 意識障害、33. 失神、34. 言語障害、35. けいれん発作、36. 視力障害、視野狭窄、37. 目の充血、38. 聴覚障害、39. 鼻漏・鼻閉、40. 鼻出血、41. 嗄声、42. 胸痛、43. 動悸、44. 心肺停止、45. 呼吸困難、46. 咳・痰、47. 誤嚥、48. 誤飲、49. 嚥下困難、50. 吐血・下血、51. 嘔気・嘔吐、52. 胸やけ、53. 腹痛、54. 便通異常（下痢、便秘）、55. 肛門・会陰部痛、56. 熱傷、57. 外傷、58. 褥瘡、59. 背部痛、60. 腰痛、61. 関節痛、62. 歩行障害、63. 四肢のしびれ、64. 肉眼的血尿、65. 排尿障害（尿失禁・排尿困難）、66. 乏尿・尿閉、67. 多尿、68. 精神科領域の救急、69. 不安、70. 気分の障害（うつ）、71. 流・早産および満期産、72. 成長・発達の障害

III. 継続的なケア

73. 慢性疾患・複合疾患の管理、74. 高血圧症、75. 脂質異常症、76. 糖尿病、

77. 骨粗鬆症、78. 脳血管障害後遺症、79. 気管支喘息、80. 在宅医療、81. 終末期のケア、82. 生活習慣、83. 相補・代替医療（漢方医療を含む）

IV. その他

0. その他

2. カリキュラム＜2016＞の活用

日本医師会は、カリキュラム＜2016＞のテーマを生涯教育の様々な媒体に偏りなく取り入れる。

都道府県医師会・郡市区医師会の生涯教育委員会は、カリキュラム＜2016＞からテーマを選択し、講習会等を立案する。

3. カリキュラムコード

別紙1のように、カリキュラムコードを定める。

また、カリキュラムコードは略称として「CC」を使用することができる。

なお、カリキュラムコードは、継続的に見直しの検討を行う。

III. 単位設定

日本医師会生涯教育制度において、以下のように単位を定める。

1. 日本医師会雑誌を利用した解答（セルフアセスメント）

日本医師会雑誌に掲載された問題に対する解答は、日本医師会が証明・取扱いを行う。

日医雑誌1号につき、合計1単位・1または2カリキュラムコードを取得できるようにする。日本医師会雑誌には毎号、問題（1題5問、計2題）を掲載する。

解答はインターネットまたははがきにより行う。インターネットまたははがきによる解答はいずれか1回限りとし、1題につき、アセスメントにより60%の正答率を得た者（5問中3問以上正解）に0.5単位を付与する。正答率を満たさないものには単位を付与しない。

はがき解答締切は、翌月の25日を目途とし、インターネット解答は翌月末日とする。解答は2号後（2か月後）に掲載する。

正答数は個別に通知しないが、単位付与については日本医師会生涯教育制度学習単位取得証をもって通知する（解答掲載後、単位・カリキュラムコード付与についてインターネットで随時確認できる）。

単位・カリキュラムコードの取得には、年間の上限を設けない。

2. 日本医師会 eラーニング（セルフアセスメント）

日本医師会 eラーニングについては、日本医師会が証明・取扱いを行う。

生涯教育 on-line で配信しているコンテンツを受講し、セルフアセスメントにおいて、80%の正答率を得た者は、1コンテンツにつき、1カリキュラムコード1単位*を取得できる。

正答率を満たさなかった場合は、再解答が可能である。

年間の単位取得・カリキュラムコードの取得には上限を設けない。

単位付与については日本医師会生涯教育制度学習単位取得証をもって通知するが、インターネットで随時確認できる。

*日本専門医機構においてeラーニングの評価方法は、1コンテンツにつき80%以上の正解を得た時に1単位として認めるとされており、その規定との整合性を取った。

3. 講習会・講演会・ワークショップ等

講習会・講演会・ワークショップ等は、主催者が証明し、都道府県医師会・郡市区医師会が取扱う。年間の単位取得・カリキュラムコードの取得には上限を設けない。研修管理システムを利用する場合は、下記（1）と（2）において、取扱う医師会あるいは主催者が、講習会情報と出欠データを研修管理システムに登録する。使用方法是、別途定める研修管理システムのマニュアルを参照されたい。

（1）日本医師会（日本医学会を含む）、都道府県医師会、郡市区医師会の主催によるもの

講習時間1時間で1単位とし、1講習会1日の上限は設けない。なお、挨拶、休憩時間は講習時間には含めない。

1カリキュラムコードの付与は最短30分（0.5単位）とし、30分毎に講演内容に対応した1カリキュラムコードを演題毎に指定する。なお、従来とは異

なり、1時間(30分+30分)以上でも同じ内容の演題には同一カリキュラムコードを付与することとなる。

例1：認知症1時間、高血圧症1時間、脂質異常症1時間、糖尿病1時間、服薬管理30分、健康相談30分、介護保険30分、禁煙指導30分、在宅医療30分の合計6時間30分の講習会の場合、従来は5単位10CC(例えば、CC01、02、11、13、29、73、74、75、76、80)と付与していたものを次のように付与する。

「認知症」(1時間)→CC29：1単位、

「高血圧症」(1時間)→CC74：1単位

「脂質異常症」(1時間)→CC75：1単位

「糖尿病」(1時間)→CC76：1単位

「服薬管理」(30分)→CC73：0.5単位

「健康相談」(30分)→CC11：0.5単位

「介護保険」(30分)→CC13：0.5単位

「禁煙指導」(30分)→CC11：0.5単位

「在宅医療」(30分)→CC80：0.5単位

合計6.5単位8CC(CC11、13、29、73、74、75、76、80)

例2：「糖尿病と脂質異常症」で1時間30分の演題の場合、

「糖尿病」(1時間)→CC76：1単位

「脂質異常症」(30分)→CC75：0.5単位

または

「糖尿病」(30分)→CC76：0.5単位

「脂質異常症」(1時間)→CC75：1単位

の合計1.5単位2CCとなる。

なお、単位数の配分は内容に応じ主催者が判断する。

各医師会は、内容を十分に検討して、日本医師会生涯教育単位認定に相当する講演会であることを審査、承認し、カリキュラムコードを付与する。

演者、講師を務める場合も単位の扱いは同じとする。

(2) 各科医会、都道府県単位未満の日本医学会加盟学会など、各種団体の主催によるもの

原則として、都道府県医師会・郡市区医師会が事前に承認を行い、カリキュ

ラムコードを付与する。なお、時間当たりの単位取得は、(1)の主催のものと同等に扱う。主催者が事前に都道府県医師会に申請することを原則とする。

その他の単位・カリキュラムコードの取扱いについては(1)に準ずる。

(3) 日本医学会総会及び日本医学会加盟学会(都道府県単位以上)の主催によるもの

都道府県医師会の承認を不要とし、単位・カリキュラムコードは自己申告とする。

その他の単位・カリキュラムコードの取扱いについては(1)に準ずる。

(4) 出欠者の管理

1) 都道府県医師会・郡市区医師会は、研修管理システムに登録した講習会について、出欠データを入力する。

2) 研修管理システムを利用しない場合は、例えば、以下の①～③による。

①別紙6のような参加証を発行する(参加証にカリキュラムコードを記載する)。

②カリキュラムノートを作成し、それに主催責任者が捺印する。あるいは貼付シールを配布する。

③都道府県医師会のコンピュータシステムを用い出席を登録する。

4. 医師国家試験問題作成

医師国家試験問題の作成は、都道府県医師会(郡市区医師会)が証明・取扱いを行う。

都道府県医師会(郡市区医師会)に提出されたものについて1題1単位とし、年間の単位の上限は5単位までとする。カリキュラムコードは「0」のみ付与する。グループで作成されたものについても1人1単位とする。

都道府県医師会が発行する証明様式については、日本医師会において様式見本A(別紙7)を提示する。

5. 臨床実習・臨床研修制度における指導

臨床実習・臨床研修制度における指導の単位は、研修病院、郡市区医師会等が証明・取扱いを行う。

研修者1人を1日指導することにより1単位とし、年間の単位の上限は5単

位までとする。カリキュラムコードは「1」のみ付与する。

研修病院、郡市区医師会等が発行する証明様式については、日本医師会において様式見本B（別紙8）を提示する。様式見本Bは日本医師会ホームページからダウンロードを可能とする。

6. 体験学習（共同診療、病理解剖見学、手術見学等の病診・診診連携の中での学習）

体験学習は、施設長・所属長等が証明・取扱いを行う。

1時間1単位で上限は1回5単位までとする。最小単位は30分で0.5単位（1カリキュラムコードは最短30分）とする。

カリキュラムコードは自己申告とする。

年間の単位取得・カリキュラムコードの取得には上限を設けない。

施設長、所属長等が発行する証明様式については、日本医師会において様式見本C（別紙9）を提示する。様式見本Cは日本医師会ホームページからダウンロードを可能とする。

なお、報酬を得るものについては体験学習とはしない。

7. 医学学術論文・医学著書の執筆

医学学術論文・医学著書の執筆は自己申告とする。

1回（または1件）あたり1単位で、年間の上限は5単位、10カリキュラムコードまでとする。

カリキュラムコードは1回（または1件）につき内容に応じて2つまで自己申告できる。

医学学術論文は題名・掲載誌・掲載頁・掲載年を記入する。また、医学著書は書名・出版社・刊行年等を記入する。

IV. 日医生涯教育制度と学会専門医更新との互換性について

新たな専門医の仕組みについては、日本医師会、日本医学会連合、全国医学部長病院長会議を設立時社員として設立された日本専門医機構が各学会の専門医制度の見直しや統一化などの調整作業を行っている。日本医師会では生涯教育制度と学会専門医制との連携を図り、現在、27の学会の専門医制と互換性がある。（専門医の共通講習と領域別講習としての申請方法は別に通知する。）

V. その他

本実施要綱は、継続的に見直しの検討を行う。

また、以下の要綱については別途定める。

1. 「日本医師会生涯教育講座（都道府県医師会等開催）」実施要綱
2. 「日本医師会生涯教育協力講座セミナー（都道府県医師会開催）」
実施要綱
3. 「日本医師会指導医のための教育ワークショップ（都道府県医師会等
開催）」実施要綱
4. 生涯教育制度推進のための助成金等交付要綱

- 別紙 1 カリキュラムコード
- 別紙 2 生涯教育制度単位等記入表（申告書）
- 別紙 3 一括申告を行う場合の申告データ形式見本
- 別紙 4 日本医師会生涯教育制度学習単位取得証
- 別紙 5 日医生涯教育認定証
- 別紙 6 講習会等の参加証の例
- 別紙 7 様式見本 A（医師国家試験問題作成の証明様式）
- 別紙 8 様式見本 B（臨床実習・臨床研修制度における指導の証明様式）
- 別紙 9 様式見本 C（体験学習の証明様式）

別紙1

日本医師会生涯教育カリキュラム＜2016＞
カリキュラムコード(略称:CC)

1 医師のプロフェッショナリズム	43 動悸
2 医療倫理:臨床倫理	44 心肺停止
3 医療倫理:研究倫理と生命倫理	45 呼吸困難
4 医師－患者関係とコミュニケーション	46 咳・痰
5 心理社会的アプローチ	47 誤嚥
6 医療制度と法律	48 誤飲
7 医療の質と安全	49 嚥下困難
8 感染対策	50 吐血・下血
9 医療情報	51 嘔気・嘔吐
10 チーム医療	52 胸やけ
11 予防と保健	53 腹痛
12 地域医療	54 便通異常(下痢・便秘)
13 医療と介護および福祉の連携	55 肛門・会陰部痛
14 災害医療	56 熱傷
15 臨床問題解決のプロセス	57 外傷
16 ショック	58 褥瘡
17 急性中毒	59 背部痛
18 全身倦怠感	60 腰痛
19 身体機能の低下	61 関節痛
20 不眠	62 歩行障害
21 食欲不振	63 四肢のしびれ
22 体重減少・るい痩	64 肉眼的血尿
23 体重増加・肥満	65 排尿障害(尿失禁・排尿困難)
24 浮腫	66 乏尿・尿閉
25 リンパ節腫脹	67 多尿
26 発疹	68 精神科領域の救急
27 黄疸	69 不安
28 発熱	70 気分の障害(うつ)
29 認知能の障害	71 流・早産および満期産
30 頭痛	72 成長・発達の障害
31 めまい	73 慢性疾患・複合疾患の管理
32 意識障害	74 高血圧症
33 失神	75 脂質異常症
34 言語障害	76 糖尿病
35 けいれん発作	77 骨粗鬆症
36 視力障害・視野狭窄	78 脳血管障害後遺症
37 目の充血	79 気管支喘息
38 聴覚障害	80 在宅医療
39 鼻漏・鼻閉	81 終末期のケア
40 鼻出血	82 生活習慣
41 嘔声	83 相補・代替医療(漢方医療を含む)
42 胸痛	0 その他

生涯教育制度単位等記入表

※以下の単位欄とカリキュラムコード (CC) 欄の両方にご記入ください。

単位

講習会・学会等

単位

(単位上限なし)

医師国試問題作成

単位

(5単位まで)

研修等指導

単位

(5単位まで)

体験学習

単位

(単位上限なし)

論文等執筆

単位

(5単位まで)

合計学習単位数

単位

(単位数の合計を記入)

カリキュラムコード (CC)

取得したカリキュラムコードに○を1つのみ記入

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84						

取得カリキュラムコード数

(○の数を記入)

一括申告を行う場合の申告データ形式見本(望ましい入力形式)

郡市区 医師会	整理番号	氏名	フリガナ	会員種別	生年月日	性別	医籍登録 番号	医療機関種別	業務 種別	学習単位					単位 合計	カリキュラムコード																								カリ キュ ラ ム コ ー ド 取 得 数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
										講習会等	医師国試	指導医	体験学習	論文執筆		半角数字																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
																1	2	3	4	5	6	7	8	9		76	77	78	79	80	81	82	83	84																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
半角数字	半角数字	全角	全角カナ	半角数字	半角英数	半角数字	半角数字	半角数字or全角	半角英数	半角数字					半角数字	半角数字																								半角数字																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
所属の郡市区医師会コード番号を入力。 郡市区医師会ごとに、4桁で0001から連番で入力。 ・姓と名の間に全角のスペースを1つ入れる(半角スペース2つは不可)。 ・氏名に外字がある場合は、●で置き換え、外字者と外字がわかるものを添付するか、印刷した一覧表に付箋やマーカーをつけ、外字者と外字がわかるようにする。 ・姓と名の間に半角スペースを1つ入れる。 ・日医会員は1、日医非会員は2で入力。 ・日医会員をA1,A2,B,Cと表わし、日医非会員を2と入力しても構いません。 ・西暦を用いて8桁(例:19491005)で入力。 ・S24.02.05、S24.2.5、1949/2/5、昭和24年2月5日の入力でも構いません。 ・男性は1、女性は2で入力。 ・4～6桁で入力。 ・日医非会員で医籍登録番号がない場合は、日本医師会において医師である確認が取れないことから申告とみなしません。 ・平成26年度以降、会員種別による集計としたため空白(入力があってもかまいません)。 ・平成21年度以降集計から外れているため空白(入力があってもかまいません)。 ・申告書に記載されている取得単位数、または都道府県医師会に保管されている取得単位数を入力。										半角数字					半角数字	半角数字 ・取得したカリキュラムコードに1(1以上の数字が入ってもかまいません)を、していない場合は0の記入または無記入(空欄)。																								半角数字 ・カリ キュ ラ ム コ ー ド の 合 計 を 入 力。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1311	0001	玉置 優美	タマキ ユミ	1	19600106	2	321104			15	1	5	10	3	34	1	1	1	1	0	0	0	1	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

学習単位取得証

日医 太郎 殿

あなたは平成27年度日本医師会生涯教育制度に参加され、以下、学習したことを証明いたします。

単位	合計	62.0 単位
	平成 25 年度	20.0 単位
	平成 26 年度	24.0 単位
	平成 27 年度	18.0 単位

カリキュラムコード	取得	35 CC
	平成 25 年度	15 CC
	平成 26 年度	16 CC
	平成 27 年度	14 CC

学習合計	97.0
	3年間の合計が60以上の場合、日医生涯教育認定証 ^(注) が発行されます。申告がなかった年は、0単位0ccの申告があったものとみなします。

(注)ただし、3年間の認定期間が終了するまで、次の日医生涯教育認定証は発行されません。

取得カリキュラムコード (CC)

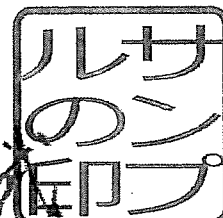
①	②	3	④	5	6	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	15	16	17	⑱	⑲	20
21	⑳	㉓	24	㉕	26	㉗	28	29	30
31	32	33	㉔	35	㉖	37	㉘	39	㉚
41	42	㉛	㉜	45	46	47	㉞	49	50
㉙	52	53	54	55	㉟	57	㉠	59	60
61	㉡	63	㉣	㉤	66	67	68	69	70
71	72	㉦	74	75	76	㉧	78	㉨	㉩
81	82	83	㉪	上段：平成 25 年度 中段：平成 26 年度 下段：平成 27 年度		同一カリキュラムコードを重複して取得しても加算されません			

平成 28 年 10 月 1 日

公益社団法人日本医師会

会長

横倉義孝



見本



日医生涯教育認定証

第1612345678号

日医 太郎 殿

あなたは日本医師会生涯教育制度の定める
認定基準を達成していることを証します。

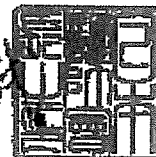
認定期間：平成28年12月1日～平成31年11月30日

平成28年12月1日

公益社団法人 日本医師会

会 長

横倉義光



講習会等における参加証の例

日本医師会生涯教育制度

参加証

主催：日本医師会

講習会名：第 回 講習会

開催日 年 月 日～ 年 月 日

合計単位数 6.5 単位

CC	単位
11	1
13	0.5
29	1
73	0.5
74	1
75	1
76	1
80	0.5

貴殿は、標記講習会に参加したことを証明する。

日本医師会長 横倉 義武 印

日本医師会生涯教育制度における単位取得証明書

(医師国家試験問題作成)

都道府県医師会名：_____

郡市区医師会名：_____

氏名

取得単位数 1 題作成につき 1 単位

_____ 単位

* 日本医師会生涯教育制度における年間の単位取得の上限は5 単位まで

カリキュラムコード：0

上記の者が医師国家試験問題作成を行ったことを証明します。

証明者（都道府県医師会、郡市区医師会）

印

年 月 日

（様式見本A）

日本医師会生涯教育制度における単位取得証明書

(臨床実習・臨床研修制度における指導)

都道府県医師会名： _____

郡市区医師会名： _____

申告者氏名

取得単位数 研修者数 × 日数

* 研修者 1 人を 1 日指導することにより 1 単位

_____ 単位

* 日本医師会生涯教育制度における年間の単位取得の上限は 5 単位まで

カリキュラムコード： 1

申告者が上記の臨床実習・臨床研修における指導を行ったことを証明します。

証明者（臨床研修病院、郡市区医師会等）

印

年 月 日

(様式見本B)

日本医師会生涯教育制度における単位取得証明書

(体験学習)

都道府県医師会名： _____

郡市区医師会名： _____

申告者氏名

取得単位数 30分で0.5単位

_____ 単位（1回あたり上限5単位まで）

内容（共同診療、病理解剖見学、手術見学等）

カリキュラムコード（自己申告）：

* 1カリキュラムコードは最短30分とする。

申告者が上記の体験学習を行ったことを証明します。

証明者（施設長、所属長等）

印

年 月 日

（様式見本C）

平成 2 7 8 年度

「日本医師会生涯教育制度」実施要綱

平成 2 7 8 年 2 月

日 本 医 師 会

I. 日本医師会生涯教育制度

日本医師会生涯教育制度は、医師としての姿勢を自ら律するという、プロフェッショナルオートノミーの理念のもと、医師の生涯教育が幅広く効果的に行われるための支援体制整備を目的として、昭和62年に発足した。その後今まで、数次にわたる制度の改正を行い、その質的向上と充実を図っている。

日本医師会は、日本医師会生涯教育カリキュラム＜20092016＞を作成し、到達目標を示した。本カリキュラムは、「日本医師会雑誌」平成21年4月号に同封して、全会員に配布した。平成21年度28年度からこのカリキュラムに則り、生涯教育を行っている。

平成278年度の生涯教育においても、生涯教育カリキュラム＜20092016＞の内容を取り入れるように努め、平成289年4月に平成278年度分の申告を行う際には、別紙1のカリキュラムコード（略称：CC・後述Ⅱ-3）もと単位を記載申告することとする。

日医生涯教育認定証の発行間隔は3年間とし、3年間で単位数とカリキュラムコード数の合計数が60以上の取得者に日医生涯教育認定証を発行する。

また、1年毎に発行する日本医師会生涯教育制度学習単位取得証には、取得年度、取得単位数及び取得カリキュラムコードを記載し、過去3年間の取得単位数とカリキュラムコードを合算したうえで、上記日医生涯教育認定証を発行する。

1. 運営組織

日本医師会生涯教育制度学習単位取得証および日医生涯教育認定証の交付に係る事項等、本制度の円滑な運営を図るため、また、専門医共通講習・領域別講習の審査・認定を行うため、日本医師会に生涯教育・専門医制度運営委員会を設ける。

2. 生涯教育カリキュラムコード・単位の申告

生涯教育の申告は、都道府県医師会または郡市区医師会が講習会・講演会・ワークショップ等（以下、「講習会等」という）情報および出欠管理を行う全国医師会研修管理システム（以下、「研修管理システム」という）に講習会等の出欠データを入力することで行う。使用方法は、別途定める研修管理システムのマニュアルを参照されたい。対応が困難な場合は、従来通り、毎年申告者が郡市区医師会から都道府県医師会を通じての申告方法で行う。

研修管理システムを利用した講習会等は、診療報酬の算定に必要な証明書等の発行が可能となる。なお、新たな専門医の仕組みにおいて、専門医の認定・

更新に必要な証明書等も発行が可能となる予定である。

2-1 研修管理システムを利用する場合

(1) 生涯教育申告者

申告者は毎年、「日本医師会雑誌」3月号に同封される申告書(別紙2)の「生涯教育単位等記入表」に1年間の取得単位及び取得カリキュラムコードを記入し、講習会等の参加証等を添付のうえ、4月末日までに所属の郡市区医師会に提出する。なお、研修管理システムを利用する講習会等については、出席が記録されるため、申告は不要となる。

(2) 都道府県医師会・郡市区医師会

都道府県医師会・郡市区医師会は、毎年5月末日までに講習会等の出欠データをその都度、研修管理システムに入力する。上記申告書または一括申告データを都道府県医師会に送付する。また、4月末までに届く自己申告分を研修管理システムに6月末までに入力する。なお、都道府県医師会は、郡市区医師会の集計状況について管理する。

~~(3) 都道府県医師会~~

~~都道府県医師会は、毎年6月末日までに、上記申告書または一括申告データを日本医師会に送付する。一括申告を行う場合の申告データの見本は別紙3のとおりとすることが望ましい。~~

~~(4.3) 日本医師会~~

~~日本医師会は、研修管理システムに送付された申告書・一括申告データに記載・記録された学習単位及びカリキュラムコードに、日本医師会が管理する日医 e-ラーニング等の単位・カリキュラムコードを加算し、個々の申告者の年間合計について取得単位・カリキュラムコードを確定する。~~

2-2 研修管理システムの利用が困難な場合(研修管理システムを利用しない場合、診療報酬の算定に必要な証明書等および新たな専門医の認定・更新に必要な証明書等は発行できない。)

(1) 生涯教育申告者

申告者は毎年、「日本医師会雑誌」3月号に同封される申告書(別紙2)の「生涯教育単位等記入表」に1年間の取得単位及び取得カリキュラムコードを記入し、講習会等の参加証等を添付のうえ、4月末日までに所属の郡市区医師会に

提出する。

(2) 郡市区医師会

郡市区医師会は、毎年5月末日までに上記申告書または一括申告データを都道府県医師会に送付する。

(3) 都道府県医師会

都道府県医師会は、毎年6月末日までに、上記申告書または一括申告データを日本医師会に送付する。なお、一括申告データでの申告が望ましく、一括申告を行う場合の申告データの見本は別紙3のとおりとすることが望ましい。

(4) 日本医師会

日本医師会に送付された申告書・一括申告データに記載された学習単位及びカリキュラムコードに、日医 e-ラーニング等の単位・カリキュラムコードを加算し、個々の申告者の年間合計取得単位・カリキュラムコードを確定する。

3. 日本医師会生涯教育制度学習単位取得証の交付

平成2-~~6~~7年度に0.5単位以上取得した生涯教育申告者に対し、日本医師会長は別紙4の「日本医師会生涯教育制度学習単位取得証」を平成2-~~7~~8年10月1日付で交付する。

また、日本医師会雑誌を利用した解答（後述Ⅲ-1）、e-ラーニング（後述Ⅲ-2）の日本医師会で管理する単位・カリキュラムコードのみを申告している者についても「日本医師会生涯教育制度学習単位取得証」を発行し、都道府県医師会に通知する。

4. 日医生涯教育認定証の交付

毎年発行する「日本医師会生涯教育制度学習単位取得証」にて連続した3年間の間に取得した単位数とカリキュラムコード数（同一の取得コードは1コードとする）の合計数が60以上の者に、12月1日付で、発行日から3年間の有効期間を明記した日本医師会長名の「日医生涯教育認定証」（別紙5）を交付する。

なお、日医生涯教育認定証が発行された者については、日医生涯教育認定証が発行された年度の4月1日を起算日として、新たに単位・カリキュラムコードが累積されることとなり、有効期間が終了する3年後まで、日医生涯教育認定証は発行しない。

5. その他の証明書

研修管理システムを利用した講習会等は、診療報酬の算定に必要な証明書等の発行が可能となる。なお、新たな専門医の仕組みにおいて、専門医の認定・更新に必要な証明書等も発行が可能となる予定である。

II. 日本医師会生涯教育カリキュラム＜20092016＞

日本医師会生涯教育カリキュラム＜2009＞は、平成21年4月号の日医雑誌に同封して全会員に配布されており、同時に日本医師会ホームページにおいても掲載している。

日本医師会生涯教育カリキュラム＜2016＞においては、旧「専門職としての使命感」と旧「継続的な学習と臨床能力の保持」を「医師のプロフェッショナリズム」に統合、旧「医療倫理」を「医療倫理：臨床倫理」と「医療倫理：研究倫理と生命倫理」に分割し、旧「公平公正な医療」を「医療倫理：臨床倫理」に統合したほか、旧「予防活動」と旧「保健活動」を、「予防と保健」に統合した。また、旧「医療の質と安全」を、「医療の質と安全」と「感染対策」に分割し、「災害医療」を新設した。

1. カリキュラム＜20092016＞の内容

カリキュラム＜20092016＞の一般目標は、「頻度の高い疾病と傷害、それらの予防、保健と福祉など、健康にかかわる幅広い問題について、わが国の医療体制の中で、適切な初期対応と必要に応じた継続医療を全人的視点から提供できる医師としての態度、知識、技能を身につける。」とされている。

また、行動目標は、以下のとおりである。

I. 総論

1. ~~医療専門職としての使命（①専門職としての使命感、②継続的な学習と臨床能力の保持、③公平・公正な医療）~~医師のプロフェッショナリズム、2. ~~全人的視点（①医療倫理、②医師－患者関係とコミュニケーション、③心理社会的アプローチ）~~医療倫理：臨床倫理、3. ~~医療の制度と管理（①医療制度と法律、②医療の質と安全 ③医療情報、④チーム医療）~~医療倫理：研究倫理と生命倫理 4. ~~予防・保健（①予防活動、②保健活動）~~医師－患者のコミュニケーション、5. ~~地域医療・福祉（①地域医療、②医療と福祉の連携）~~心理社会的アプローチ、6. ~~臨床問題への対応（①臨床問題解決のプロセス、②症候別の臨床問題への対応）~~医療制度と法律、7. ~~継続的なケア（①慢性疾患・複合疾~~

患の管理、②在宅医療、③終末期のケア、④生活習慣、⑤相補・代替医療（漢方医療を含む）医療の質と安全、8. 感染対策、9. 医療情報、10. チーム医療、11. 予防と保健、12. 地域医療、13. 医療と介護および福祉の連携、14. 災害医療、15. 臨床問題解決のプロセスの7項目からなる。

さらに、6. ②の症候別の臨床問題への具体的対応については、5-7の症候について、臨床問題解決のプロセスとして、①病歴聴取、②身体診察、③臨床検査、④鑑別診断のための病態・疾患の列举、⑤専門医に紹介すべき病態・疾患の判断、⑥自ら継続管理してよい病態・疾患の判断、⑦エビデンスに基づいた標準的なマネジメント、が示されている。

＜6. ②症候別の臨床問題への具体的対応＞

II. 症候論

-116. ショック、-217. 急性中毒、-318. 全身倦怠感、-419. 身体機能の低下、-520. 不眠、-621. 食欲不振、-722. 体重減少・るい瘦、-823. 体重増加・肥満、-924. 浮腫、1025. リンパ節腫脹、1126. 発疹、1227. 黄疸、1328. 発熱、1429. 認知能の障害、1530. 頭痛、1631. めまい、1732. 意識障害、1833. 失神、1934. 言語障害、2035. けいれん発作、2136. 視力障害、視野狭窄、2237. 目の充血、2338. 聴覚障害、2439. 鼻漏・鼻閉、2540. 鼻出血、2641. 嗄声、2742. 胸痛、2843. 動悸、2944. 心肺停止、3045. 呼吸困難、3146. 咳・痰、3247. 誤嚥、3348. 誤飲、3449. 嚥下困難、3550. 吐血・下血、3651. 嘔気・嘔吐、3752. 胸やけ、3853. 腹痛、3954. 便通異常（下痢、便秘）、4055. 肛門・会陰部痛、4156. 熱傷、4257. 外傷、4358. 褥瘡、4459. 背部痛、4560. 腰痛、4661. 関節痛、4762. 歩行障害、4863. 四肢のしびれ、4964. 肉眼的血尿、5065. 排尿障害（尿失禁・排尿困難）、5166. 乏尿・尿閉、5267. 多尿、5368. 精神科領域の救急、5469. 不安、5570. 気分の障害（うつ）、5671. 流・早産および満期産、5772. 成長・発達の障害

III. 継続的なケア

＜7. ①頻度の高い慢性疾患の管理＞

73. 慢性疾患・複合疾患の管理、-174. 高血圧症、-275. 脂質異常症、-376. 糖尿病、-477. 骨粗鬆症、-578. 脳血管障害後遺症、-679. 気管支喘息、80. 在宅医療、81. 終末期のケア、82. 生活習慣、83. 相補・代替医療（漢方医療を含む）

IV. その他

0. その他

2. カリキュラム<20092016>の活用

日本医師会は、カリキュラム<20092016>のテーマを生涯教育の様々な媒体に偏りなく取り入れる。

都道府県医師会・郡市区医師会の生涯教育委員会は、カリキュラム<20092016>からテーマを選択し、講習会等を立案する。~~「臨床問題への対応」については、病名だけでなく症候をつけた演題とすることが望ましい（例：誤嚥と肺炎）。また、病診連携による体験学習（参加型学習）においても、カリキュラムにある課題を選択することが望ましい。~~

~~会員個人が行う自宅学習や、グループ学習を行う際にも活用する。~~

3. カリキュラムコード

別紙1のように、カリキュラムコードを定める。

また、カリキュラムコードは略称として「CC」を使用することができる。

なお、カリキュラムコードは、継続的に見直しの検討を行う。

Ⅲ. 単位設定

日本医師会生涯教育制度において、以下のように単位を定める。

1. 日本医師会雑誌を利用した解答（セルフアセスメント付）

日本医師会雑誌に掲載された問題に対する解答は、日本医師会が証明・取扱いを行う。

~~カリキュラムコードが多種類に及ぶよう努め、~~日医雑誌1号につき、合計1単位・1または2カリキュラムコードを取得できるようにする。日本医師会雑誌には毎号、問題（カリキュラムコード毎に5-1題5問、1号につき計10-2題）を掲載する。

解答はインターネットまたははがきにより行う。インターネットまたははがきによる解答はいずれか1回限りとし、1カリキュラムコード題につき、アセスメントにより60%の正答率を得たもの者（5問中3問以上正解）に0.5単位を付与する。正答率を満たさないものには単位を付与しない。

はがき解答締切は、翌月の20-25日を目途（~~日医雑誌は毎月月初めに発送~~）

されることから、回答期間は約7週間となる）とし、インターネット解答は翌月末日とする。解答は2号後（2か月後）に掲載する。

正答数は個別に通知しないが、単位付与については日本医師会生涯教育制度学習単位取得証をもって、年に1回まとめて連絡通知する（インターネット解答の場合は解答掲載後、単位・カリキュラムコード付与についてインターネットで随時確認できる）。

単位・カリキュラムコードの取得には、年間の上限を設けない。

2. 日本医師会 e-ラーニング（セルフアセスメント付）

日本医師会 e-ラーニングについては、日本医師会が証明・取扱いを行う。

インターネット生涯教育講座、インターネット生涯教育協力講座、日本医師会治験促進センター・臨床試験のための e-Training center、Minds 読後解答生涯教育 on-line で配信しているコンテンツのを受講し、セルフアセスメントにおいて、60-80%の正答率を得た者は、1 コンテンツ（約30分）につき、0.5単位 1カリキュラムコード 0.51単位*を取得できる。

アセスメントにおいて、60%の正答率を満たした解答により単位・カリキュラムコードを付与する。正答率を満たさなかった場合は、再解答が可能である。

年間の単位取得・カリキュラムコードの取得には上限を設けない。

単位付与については日本医師会生涯教育制度学習単位取得証をもって通知するが、インターネットで随時確認できる。

*日本専門医機構において e-ラーニングの評価方法は、1 コンテンツにつき 80%以上の正解を得た時に 1単位として認めるとされており、その規定との整合性を取った。

3. 講習会・講演会・ワークショップ・学会等

講習会・講演会・ワークショップ・学会等は、主催者が証明し、都道府県医師会 （・郡市区医師会） が取扱う。年間の単位取得・カリキュラムコードの取得には上限を設けない。ただし、カリキュラムコードの上限は単位数の2倍となる。研修管理システムを利用する場合は、下記（1）と（2）において、取扱う医師会あるいは主催者が、講習会情報と出欠データを研修管理システムに登録する。使用方法是、別途定める研修管理システムのマニュアルを参照されたい。

(1) 日本医師会（日本医学学会を含む）、都道府県医師会、郡市区医師会の主催によるもの

講習時間1時間で1単位とし、1講習会1日の上限は~~5単位までとする（例：1日8時間×2日間の講習会でも10単位まで）~~設けない。なお、挨拶、休憩時間は講習時間には含めない。

1カリキュラムコードの付与は最短30分（0.5単位）とし、30分毎に講演内容に対応した1カリキュラムコードを演題毎に指定する。なお、従来とは異なり、1時間（30分+30分）以上でも同じ内容の演題には同一カリキュラムコードを付与することとなる。

例1：認知症1時間、高血圧症1時間、脂質異常症1時間、糖尿病1時間、服薬管理30分、健康相談30分、介護保険30分、禁煙指導30分、在宅医療30分の合計6時間30分の講習会の場合、従来は5単位10CC（例えば、CC01、02、11、13、29、73、74、75、76、80）と付与していたものを次のように付与する。

「認知症」（1時間）→CC29：1単位、

「高血圧症」（1時間）→CC74：1単位

「脂質異常症」（1時間）→CC75：1単位

「糖尿病」（1時間）→CC76：1単位

「服薬管理」（30分）→CC73：0.5単位

「健康相談」（30分）→CC11：0.5単位

「介護保険」（30分）→CC13：0.5単位

「禁煙指導」（30分）→CC11：0.5単位

「在宅医療」（30分）→CC80：0.5単位

合計6.5単位8CC（CC11、13、29、73、74、75、76、80）カリキュラムコードは単位数の2倍を上限に付与する（例：1日の上限は5単位10カリキュラムコードまで）。

例2：「糖尿病と脂質異常症」で1時間30分の演題の場合、

「糖尿病」（1時間）→CC76：1単位

「脂質異常症」（30分）→CC75：0.5単位

または

「糖尿病」（30分）→CC76：0.5単位

「脂質異常症」（1時間）→CC75：1単位

の合計1.5単位2CCとなる。

なお、単位数の配分は内容に応じ主催者が判断する。

各医師会は、内容を十分に検討して、日本医師会生涯教育単位認定に相当する講演会であることを審査、承認し、カリキュラムコードを付与する。

演者、講師を務める場合も単位の扱いは同じとし、カリキュラムコード「2」の付与も可能とする。

（2）日本医学会総会及び日本医学会加盟学会（都道府県単位以上）の主催によるもの

都道府県医師会の承認を不要とし、カリキュラムコードは単位数の2倍を上限に自己申告とする。

その他の単位・カリキュラムコードの取り扱いについては（1）に準ずる。

（3-2）前記以外の各科医会、都道府県単位未満の日本医学会加盟学会など、各種団体の主催によるもの

原則として、都道府県医師会（または・郡市区医師会）が事前に承認を行い、カリキュラムコードを付与する。なお、時間当たりの単位取得は、（1）の主催のものと同等に扱う。主催者が事前に都道府県医師会に申請することを原則とする。

その他の単位・カリキュラムコードの取り扱いについては（1）に準ずる。

（3）日本医学会総会及び日本医学会加盟学会（都道府県単位以上）の主催によるもの

都道府県医師会の承認を不要とし、単位・カリキュラムコードは自己申告とする。

その他の単位・カリキュラムコードの取扱いについては（1）に準ずる。

（4）参加証等出欠者の管理

参加の証明方法として、例えば下記のようなものが考えられる。

1）都道府県医師会・郡市区医師会は、研修管理システムに登録した講習会について、出欠データを入力する。

2）研修管理システムを利用しない場合は、例えば、以下の①～③による。

①別紙6のような参加証を発行する（参加証にカリキュラムコードを記載する）。日本医師会が配布している申告支援ソフトによっても参加証の印刷が可能である。

②カリキュラムノートを作成し、それに主催責任者が捺印する。あるいは

貼付シールを配布する。

③都道府県医師会のコンピュータシステムを用い出席を登録する。

4. 医師国家試験問題作成

医師国家試験問題の作成は、都道府県医師会（郡市区医師会）が証明・取扱いを行う。

都道府県医師会（郡市区医師会）に提出されたものについて1題1単位とし、年間の単位の上限は5単位までとする。カリキュラムコードは「~~8~~40」のみ付与する。グループで作成されたものについても1人1単位とする。

都道府県医師会が発行する証明様式については、日本医師会において様式見本A（別紙7）を提示する。

5. 臨床実習・臨床研修制度における指導

臨床実習・臨床研修制度における指導の単位は、研修病院、郡市区医師会等が証明・取扱いを行う。

研修者1人を1日指導することにより1単位とし、年間の単位の上限は5単位までとする。カリキュラムコードは「~~2~~1」のみ付与する。

研修病院、郡市区医師会等が発行する証明様式については、日本医師会において様式見本B（別紙8）を提示する。様式見本Bは日本医師会ホームページからダウンロードを可能とする。

6. 体験学習（共同診療、病理解剖見学、手術見学等の病診・診診連携の中での学習）

体験学習は、施設長・所属長等が証明・取扱いを行う。

1時間1単位で上限は1回5単位までとする。最小単位は30分で0.5単位（1カリキュラムコードは最短30分）とする。

カリキュラムコードは単位数の2倍を上限に自己申告とする。

年間の単位取得・カリキュラムコードの取得には上限を設けない。

施設長、所属長等が発行する証明様式については、日本医師会において様式見本C（別紙9）を提示する。様式見本Cは日本医師会ホームページからダウンロードを可能とする。

なお、報酬を得るものについては体験学習とはしない。

7. 医学学術論文・医学著書の執筆

医学学術論文・医学著書の執筆は自己申告とする。

1回（または1件）あたり1単位で、年間の上限は5単位、10カリキュラムコードまでとする。

カリキュラムコードは1回（または1件）につき内容に応じて2つまで自己申告できる。

医学学術論文は題名・掲載誌・掲載頁・掲載年を記入する。また、医学著書は書名・出版社・刊行年等を記入する。

IV. 日医生涯教育制度と学会専門医更新との互換性について

学会専門医制新たな専門医の仕組みについては、日本医師会、日本医学会連合、全国医学部長病院長会議を設立時社員として設立された日本専門医機構が各学会の専門医制度の見直しや統一化などの調整作業を行っている。日本医師会では生涯教育制度と学会専門医制との連携を図り、現在、27の学会の専門医制と互換性がある。（専門医の共通講習と領域別講習としての申請方法は別に通知する。）

V. その他

本実施要綱は、継続的に見直しの検討を行う。

また、以下の要綱については別途定める。

1. 「日本医師会生涯教育講座（都道府県医師会等開催）」実施要綱
2. 「日本医師会生涯教育協力講座セミナー（都道府県医師会開催）」
実施要綱
3. 「日本医師会指導医のための教育ワークショップ（都道府県医師会等開催）」実施要綱
4. 生涯教育制度推進のための助成金等交付要綱

別紙 1 カリキュラムコード

別紙 2 生涯教育制度単位等記入表（申告書）

別紙 3 一括申告を行う場合の申告データ形式見本

別紙 4 日本医師会生涯教育制度学習単位取得証

別紙 5 日医生涯教育認定証

別紙 6 講習会等の参加証の例

別紙 7 様式見本 A（医師国家試験問題作成の証明様式）

別紙 8 様式見本 B（臨床実習・臨床研修制度における指導の証明様式）

別紙 9 様式見本 C（体験学習の証明様式）

日本医師会生涯教育カリキュラム＜2016＞
カリキュラムコード(略称:CC)

1 医師のプロフェッショナリズム	43 動悸
2 医療倫理:臨床倫理	44 心肺停止
3 医療倫理:研究倫理と生命倫理	45 呼吸困難
4 医師－患者関係とコミュニケーション	46 咳・痰
5 心理社会的アプローチ	47 誤嚥
6 医療制度と法律	48 誤飲
7 医療の質と安全	49 嚥下困難
8 感染対策	50 吐血・下血
9 医療情報	51 嘔気・嘔吐
10 チーム医療	52 胸やけ
11 予防と保健	53 腹痛
12 地域医療	54 便通異常(下痢・便秘)
13 医療と介護および福祉の連携	55 肛門・会陰部痛
14 災害医療	56 熱傷
15 臨床問題解決のプロセス	57 外傷
16 ショック	58 褥瘡
17 急性中毒	59 背部痛
18 全身倦怠感	60 腰痛
19 身体機能の低下	61 関節痛
20 不眠	62 歩行障害
21 食欲不振	63 四肢のしびれ
22 体重減少・るい瘦	64 肉眼的血尿
23 体重増加・肥満	65 排尿障害(尿失禁・排尿困難)
24 浮腫	66 乏尿・尿閉
25 リンパ節腫脹	67 多尿
26 発疹	68 精神科領域の救急
27 黄疸	69 不安
28 発熱	70 気分の障害(うつ)
29 認知能の障害	71 流・早産および満期産
30 頭痛	72 成長・発達の障害
31 めまい	73 慢性疾患・複合疾患の管理
32 意識障害	74 高血圧症
33 失神	75 脂質異常症
34 言語障害	76 糖尿病
35 けいれん発作	77 骨粗鬆症
36 視力障害・視野狭窄	78 脳血管障害後遺症
37 目の充血	79 気管支喘息
38 聴覚障害	80 在宅医療
39 鼻漏・鼻閉	81 終末期のケア
40 鼻出血	82 生活習慣
41 嗄声	83 相補・代替医療(漢方医療を含む)
42 胸痛	0 その他

生涯教育制度単位等記入表

※以下の単位欄とカリキュラムコード (CC) 欄の両方にご記入ください。

単位

講習会・学会等	医師国試問題作成	研修等指導	体験学習	論文等執筆
単位	単位	単位	単位	単位
(単位上限なし)	(5単位まで)	(5単位まで)	(単位上限なし)	(5単位まで)

合計学習単位数 単位
(単位数の合計を記入)

カリキュラムコード (CC)

取得したカリキュラムコードに○を1つのみ記入

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84						

取得カリキュラムコード数
(○の数を記入)

一括申告を行う場合の申告データ形式見本(望ましい入力形式)

郡市区 医師会	整理番号	氏名	フリガナ	会員種別	生年月日	性別	医籍登録 番号	医療機関種別	業務 種別	学習単位					単位 合計	カリキュラムコード																カリキュラム コード 取得数			
										講習会等	医師国試	指導医	体験学習	論文執筆		1	2	3	4	5	6	7	8	9		76	77	78	79	80	81		82	83	84
半角数字	半角数字	全角	全角カナ	半角数字	半角英数	半角数字	半角数字	半角数字or全角	半角英数	半角数字					半角数字	半角数字																半角数字			
所属の郡市区医師会コード番号を入力。	郡市区医師会ごとに、4桁で0001から連番で入力。	・姓と名の間に全角のスペースを1つ入れる(半角スペース2つは不可)。 ・氏名に外字がある場合は、●で置き換え、外字者と外字がわかるものを添付するか、印刷した一覧表に付箋やマーカーをつけ、外字者と外字がわかるようにする。	・姓と名の間に半角スペースを1つ入れる。	・日医会員は1、日医非会員は2で入力。 ・日医会員をA1,A2,B,Cと表わし、日医非会員を2と入力しても構いません。	・西暦を用いて8桁(例: 19491005)で入力。 ・S24.02.05、S24.2.5、1949/2/5、昭和24年2月5日の入力でも構いません。	男性は1、女性は2で入力。	・4～6桁で入力。 ・日医非会員で医籍登録番号がない場合は、日本医師会において医師である確認が取れないことから申告とみなしません。	・平成26年度以降、会員種別による集計としたため空白(入力があってもかまいません。)	・平成21年度以降集計から外れているため空白(入力があってもかまいません。)	・申告書に記載されている取得単位数、または都道府県医師会に保管されている取得単位数を入力。					・単位の合計を入力。	・取得したカリキュラムコードに1(1以上の数字が入ってもかまいません)を、していない場合は0の記入または無記入(空欄)。																・カリキュラムコードの合計を入力。			
1311	0001	玉置 優美	タマキ ユミ	1	19600106	2	321104			15	1	5	10	3	34	1	1	1	1	0	0	0	1	0		0	0	0	0	0	1	0	0	1	15
1311	0002	●田 まゆ	ヨシダ マユ	1	19501214	2	249111			20			25		45	0	1	0	1	0	1	1	0	0		1	0	1	1	0	0	0	1	20	
1311	0003	清水 修一	シミズ シュウイチ	1	19360518	1	182883			6				5	11	1										1						1		13	
1311	0004	村田 恭一	ムラタ キョウイチ	2	19441025	1	254138			20					20	1		1		1			1						1	1				24	
1311	0005	堀田 紳男	ホッタ マスオ	1	19700523	1	395201			35	3		12		50	1	1	1		1		1					1	1		1		1		35	
1311	0006	青山 多美	アオヤマ タミ	1	19190101	2	091335			3					3											1					1			6	
1311	0007	谷口 利夫	タニグチ トシオ	1	19631214	1	305676			20					20	1				1				1							1	1		29	
1311	0008	前田 道彦	マエダ ミチヒコ	1	19540727	1	284862			10			5		15	1					1							1						8	
1316	0001	陳 隆一	チン リュウイチ	1	19490217	1	003250			5	5				10			1					1			1						1		17	
1316	0002	福田 公子	フクタ キミコ	1	19650303	2	387564			55				5	60	1	1			1		1				1	1		1	1	1	1		35	
1316	0003	山本 誠	ヤマモト セイ	1	19451010	1	212570			18			14		32	1	1	1	1		1					1		1		1	1	1		40	

* 本様式見本のexcelファイルまたはcsvファイルは、日本医師会ホームページ生涯教育on-line(<http://www.med.or.jp/cme/about/>)よりダウンロードできます。

* 郡市区医師会コード番号は、日本医師会ホームページ生涯教育on-lineを参照してください。

学習単位取得証

日医 太郎 殿

あなたは平成27年度日本医師会生涯教育制度に参加され、以下、学習したことを証明いたします。

単位	合計	62.0 単位
	平成 25 年度	20.0 単位
	平成 26 年度	24.0 単位
	平成 27 年度	18.0 単位

カリキュラムコード	取得	35 CC
	平成 25 年度	15 CC
	平成 26 年度	16 CC
	平成 27 年度	14 CC

学習合計	97.0
	3年間の合計が60以上の場合、日医生涯教育認定証 ^(注) が発行されます。申告がなかった年は、0単位0ccの申告があったものとみなします。

(注)ただし、3年間の認定期間が終了するまで、次の日医生涯教育認定証は発行されません。

取得カリキュラムコード (CC)

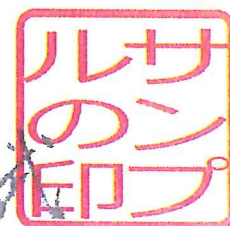
① ○	② ○	3	④ ○	5	6	⑦ ○	⑧ ○	⑨ ○	⑩ ○
⑪ ○	⑫ ○	⑬ ○	⑭ ○	15	16	17	⑱ ○	⑲ ○	20
21	⑫ ○	⑬ ○	24	⑮ ○	26	⑰ ○	28	29	30
31	32	33	⑳ ○	35	⑳ ○	37	㉑ ○	39	㉒ ○
41	42	㉓ ○	㉔ ○	45	46	47	㉕ ○	49	50
㉖ ○	52	53	54	55	㉗ ○	57	㉘ ○	59	60
61	㉙ ○	63	㉚ ○	㉛ ○	66	67	68	69	70
71	72	㉜ ○	74	75	76	㉝ ○	78	㉞ ○	㉟ ○
81	82	83	㊱ ○	上段：平成 25 年度 中段：平成 26 年度 下段：平成 27 年度					
			㊲ ○						

同一カリキュラムコードを重複して取得しても加算されません

平成 28 年 10 月 1 日

公益社団法人日本医師会

会長 横倉義武



見本



日医生涯教育認定証

第1612345678号

日医 太郎 殿

あなたは日本医師会生涯教育制度の定める
認定基準を達成していることを証します。

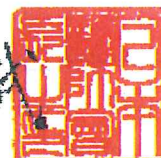
認定期間：平成28年12月1日～平成31年11月30日

平成28年12月1日

公益社団法人 日本医師会

会 長

横倉義武



講習会等における参加証の例

日本医師会生涯教育制度

参加証

主催：日本医師会

講習会名：第 回 講習会

開催日 年 月 日～ 年 月 日

合計単位数 6.5 単位

CC	単位
11	1
13	0.5
29	1
73	0.5
74	1
75	1
76	1
80	0.5

貴殿は、標記講習会に参加したことを証明する。

日本医師会長 横倉 義武 印

日本医師会生涯教育制度における単位取得証明書

(医師国家試験問題作成)

都道府県医師会名： _____

郡市区医師会名： _____

氏名

取得単位数 1 題作成につき 1 単位

_____ 単位

* 日本医師会生涯教育制度における年間の単位取得の上限は5単位まで

カリキュラムコード： 840

上記の者が医師国家試験問題作成を行ったことを証明します。

証明者（都道府県医師会、郡市区医師会）

印

年 月 日

(様式見本A)

日本医師会生涯教育制度における単位取得証明書

(臨床実習・臨床研修制度における指導)

都道府県医師会名： _____

郡市区医師会名： _____

申告者氏名

取得単位数 研修者数 × 日数

* 研修者1人を1日指導することにより1単位

単位

* 日本医師会生涯教育制度における年間の単位取得の上限は5単位まで

カリキュラムコード：~~2~~1

申告者が上記の臨床実習・臨床研修における指導を行ったことを証明します。

証明者（臨床研修病院、郡市区医師会等）

印

年 月 日

(様式見本B)

日本医師会生涯教育制度における単位取得証明書

(体験学習)

都道府県医師会名：_____

郡市区医師会名：_____

申告者氏名

取得単位数 30分で0.5単位

_____ 単位（1回あたり上限5単位まで）

内容（共同診療、病理解剖見学、手術見学等）

カリキュラムコード（自己申告）：

* 1カリキュラムコードは最短30分とする。カリキュラムコード数は取得単位数の2倍まで

申告者が上記の体験学習を行ったことを証明します。

証明者（施設長、所属長等）

印

年 月 日

(様式見本C)

※平成 28 年 4 月以降に開催される講習会等の申告書類について（郡市区医師会用）

日本医師会生涯教育制度の見直しに伴い、本会への申告書類が変更になります。
平成 28 年 4 月以降に開催される講習会等の生涯教育講座の単位を申告される場合は、
申告方法をご確認の上、ご申告くださいますようお願い申し上げます。

～主な変更点～

- ①講演内容に対応したカリキュラムコードを指定
（最小単位は 30 分 0.5 単位 1 カリキュラムコード）
- ②カリキュラムコード 1～15 の変更
- ③ 1 日あたりの取得単位数の上限（5 単位）の廃止

■申告手続きについて

- ①原則、講座開催の 2 ヶ月前までに「日本医師会生涯教育講座開催指定申告書」
を本会へ提出して下さい。

【演題が 1 つの場合】

- ・申告書のみ、もしくは申告書・プログラムを提出

【演題が 2 つ以上の場合】

- ・申告書・プログラム・別紙 1 を提出

単位については 1 時間 1 単位（最小単位は 30 分・0.5 単位）で、1 カリキュラム
コードの付与は最短 30 分（0.5 単位）です。また、1 日の単位上限が廃止されま
した。これまで、カリキュラムコードは単位数の 2 倍の付与となっておりましたが、
平成 28 年 4 月以降に開催される講習会等より、下記のようにプログラムの内
容に基づきカリキュラムコードとその単位を設定して下さい。

例 1：2 時間 30 分の講習会で演題が「高血圧症について」60 分、
「糖尿病について」60 分、「在宅医療について」30 分の場合



高血圧症（CC74）を 1 単位
糖尿病（CC76）を 1 単位
在宅医療（CC80）を 0.5 単位

例 2：1 時間 30 分の講習会で演題が「脂質異常症と糖尿病」の場合



脂質異常症（CC75）を 0.5 単位、糖尿病（CC76）を 1 単位
または、
脂質異常症（CC75）を 1 単位、糖尿病（CC76）を 0.5 単位

※単位・カリキュラムコードの配分は、実際の講演内容や講習会の主旨
（集中講座など）に応じて主催者が決定できます。

②郡市区医師会主催・共催の講座は、各郡市区医師会で参加証を作成する。

・参加証には、「講習会名・開催日・カリキュラムコード・単位数」を明記して、参加者に配布すること。＜参考資料6＞

<「日本医師会生涯教育講座開催指定申告書」記入上の注意点>

- ① 申請者（名称・代表者・印）
 - ・ 製薬会社名は記入しない。
 - ・ 忘れずに印をお願いします（コピー不可）。
- ② 開催者
 - ・ ①の申請者と同じ名前か団体名とする。
 - ・ 製薬会社名は記入しない。
- ③ 開催内容
 - 【演題が1つの場合】
 - ・ 申告書のみ、もしくは申告書・プログラムを提出
 - 【演題が2つ以上の場合】
 - ・ 申告書・プログラム・別紙1を提出
 - ※ プログラム内に、製薬会社による製品紹介、製品名、会社名の記載は入れないでください。「薬剤情報提供について」という記載にしてください。
（開催案内発送用、当日の配布用も同様）
 - ・ プログラムの変更があった場合は、県医報、ホームページに掲載しますので、速やかに福岡県医師会まで連絡をお願いします。
- ④ 単位
 - 講習時間1時間あたり1単位とする。最小単位は、30分0.5単位。
 - 1開催あたりの1日の単位上限はございません。
 - なお、挨拶、休憩時間は講習時間には含めないで下さい。
- ⑤ カリキュラムコード（略称：CC）
 - 84カリキュラムコードのうち、1カリキュラムコードの付与は最短30分（0.5単位）とし、30分毎に講演内容に対応した1カリキュラムコードを演題毎に指定して下さい。
- ⑥ 連絡者
 - ・ ①の申請者と同じ名前か団体名とする。
 - ・ 製薬会社名は記入しない。

※ 原則、開催日の2ヶ月前までに福岡県医師会に提出してください。（郵送可）

【演題が1つの場合】

【申請日】平成 28 年〇月〇日

公益社団法人福岡県医師会
会長 松 田 峻一良 殿

申請者 ○○○医師会
会長 ○○ ○○ 印

日本医師会生涯教育講座 開催指定申告書

標記について、下記のとおり開催いたしますのでお知らせいたします。

講習会名	○○○○学術講演会
開催者	○○○○医師会
開催日時	平成 28 年 〇 月 〇 日 (〇) 15:00 ~ 16:30
開催場所	(所在地) 福岡市○○区〇 - 〇 (会場名) ○○○○ホテル 出席予定人員 ○〇 名
参加方式	・要予約 <u>・予約不要</u> ※自由参加制であること
参加者	<u>・無料</u> ・有料 _____ 円
開催内容	「心房細動の最新治療」 ○○大学教授 ○○先生
取得単位	<u>1.5</u> 単位 (講習時間 30 分につき 0.5 単位、1 日あたりの単位上限なし)
カリキュラムコード (CC)	<u>16 (0.5 単位)</u> 、 <u>42 (0.5 単位)</u> <u>43 (0.5 単位)</u> 、 <u> (単位)</u> <u> (単位)</u> 、 <u> (単位)</u> (単位と CC は演題内容に基づいて演題毎に指定)
参加証必要数	<u>100</u> 枚
託児について	(広報し、希望があれば設置をお願いします)
連絡者 (参加証送付先・県医報掲載時の連絡先)	住所 〒 ○○○ - ○○○ 福岡市○○区〇 - 〇 所属・役職 ○○○○医師会 氏 名 ○○ ○○ TEL ○○○ - ○○○ - ○○○
備考	

【演題が2つ以上ある場合】

【申請日】平成28年〇月〇日

公益社団法人福岡県医師会
会長 松田 峻一良 殿

申請者 ○○○○医師会
会長 ○○ ○○ 印

日本医師会生涯教育講座 開催指定申告書

標記について、下記のとおり開催いたしますのでお知らせいたします。

講習会名	○○○○学術講演会
開催者	○○○○医師会
開催日時	平成28年〇月〇日(〇) 15:00 ~ 17:30
開催場所	(所在地) 福岡市○○区〇-〇 (会場名) ○○○○ホテル 出席予定人員 ○〇 名
参加方式	・要予約 (・予約不要) ※自由参加制であること
参加者	(・無料) ・有料_____円
開催内容	プログラム・別紙1を参照 (プログラム・別紙1を添付して下さい)
取得単位	_____2.5_____ 単位 (講習時間30分につき0.5単位、1日あたりの単位上限なし)
カリキュラムコード(CC)	_____74_____, _____76_____, _____80_____, _____, _____ _____, _____, _____, _____, _____ (単位とCCは演題内容に基づいて演題毎に指定)
参加証必要数	_____100_____ 枚
託児について	(広報し、希望があれば設置をお願いします)
連絡者 (参加証送付先・県医報掲載時の連絡先)	住所 〒 ○○○-○○○ 福岡市○○区〇-〇 所属・役職 ○○○○医師会 氏名 ○○ ○○ TEL ○○○-○○○-○○○
備考	

講演内容【記入例】

公益社団法人福岡県医師会

会長 松田 峻一良 殿

申請日：平成 28 年 ○ 月 ○ 日

【演題1】

時 間	15:00 ~ 16:00
演 題 名	高血圧症について
カリキュラムコード	74. 高血圧症 CC 1 単位
	CC 単位
	CC 単位
	CC 単位
講 師 肩 書	〇〇大学〇〇〇講座 教授
講 師 名	〇〇 〇〇

【演題2】

時 間	16:00 ~ 17:00
演 題 名	糖尿病について
カリキュラムコード	76. 糖尿病 CC 1 単位
	CC 単位
	CC 単位
	CC 単位
講 師 肩 書	〇〇病院 院長
講 師 名	〇〇 〇〇

【演題3】

時 間	17:00 ~ 17:30
演 題 名	在宅医療について
カリキュラムコード	80. 在宅医療 CC 0.5 単位
	CC 単位
	CC 単位
	CC 単位
講 師 肩 書	〇〇クリニック 副院長
講 師 名	〇〇 〇〇

日本医師会生涯教育カリキュラム＜2016＞
カリキュラムコード(略称:CC)

1 医師のプロフェッショナリズム	43 動悸
2 医療倫理:臨床倫理	44 心肺停止
3 医療倫理:研究倫理と生命倫理	45 呼吸困難
4 医師－患者関係とコミュニケーション	46 咳・痰
5 心理社会的アプローチ	47 誤嚥
6 医療制度と法律	48 誤飲
7 医療の質と安全	49 嚥下困難
8 感染対策	50 吐血・下血
9 医療情報	51 嘔気・嘔吐
10 チーム医療	52 胸やけ
11 予防と保健	53 腹痛
12 地域医療	54 便通異常(下痢・便秘)
13 医療と介護および福祉の連携	55 肛門・会陰部痛
14 災害医療	56 熱傷
15 臨床問題解決のプロセス	57 外傷
16 ショック	58 褥瘡
17 急性中毒	59 背部痛
18 全身倦怠感	60 腰痛
19 身体機能の低下	61 関節痛
20 不眠	62 歩行障害
21 食欲不振	63 四肢のしびれ
22 体重減少・るい痩	64 肉眼的血尿
23 体重増加・肥満	65 排尿障害(尿失禁・排尿困難)
24 浮腫	66 乏尿・尿閉
25 リンパ節腫脹	67 多尿
26 発疹	68 精神科領域の救急
27 黄疸	69 不安
28 発熱	70 気分の障害(うつ)
29 認知能の障害	71 流・早産および満期産
30 頭痛	72 成長・発達の障害
31 めまい	73 慢性疾患・複合疾患の管理
32 意識障害	74 高血圧症
33 失神	75 脂質異常症
34 言語障害	76 糖尿病
35 けいれん発作	77 骨粗鬆症
36 視力障害・視野狭窄	78 脳血管障害後遺症
37 目の充血	79 気管支喘息
38 聴覚障害	80 在宅医療
39 鼻漏・鼻閉	81 終末期のケア
40 鼻出血	82 生活習慣
41 嘔声	83 相補・代替医療(漢方医療を含む)
42 胸痛	0 その他

参加証例

日本医師会生涯教育講座参加証

氏名 _____

(講習会名)

(開催日) 年 月 日

(合計単位数) 6.5 単位

CC	単位
11	1
13	0.5
29	1
73	0.5
74	1
75	1
76	1
80	0.5

貴殿は、標記講習会に参加したことを証明する。

公益社団法人福岡県医師会

会長 松田 峻一良 ㊞

日医生涯教育制度の見直しと 全国的な新研修管理システムの導入について

－ 学習した時間と内容をよりの確に評価する仕組みへ －

日本医師会常任理事（学術・生涯教育担当）小森 貴

●

●1

日医生涯教育制度の最近の動き①

診療報酬体系との連携
(地域包括診療加算の要件化)

●

●2

現在の日医生涯教育制度における集計項目と 地域包括診療加算の届出に必要な項目

		現在の生教制度で 集計している項目	加算の届出に 必要な項目
1年間の単位の合計		○	○
1年間の総取得CC		○	—
出席した講習会（ワークショップ も含む）ごとの情報	日付	—	○
	受講した実質時間	—	○
	取得CC	—	○
4疾患（4つのCC）については、 座学で受講した講習会ごとの情報	講習会名称	—	○
	講習会のプログラム	—	○

研修要件

- ・ 高血圧症、糖尿病、脂質異常症、認知症の4疾患は座学研修の修了
- ・ 複数の慢性疾患の指導に係る研修と、服薬管理、健康相談、介護保険、禁煙指導、在宅医療等の主治医機能に関する内容が含まれた継続的な2年間で通算20時間以上の研修の修了

疑義解釈資料

●3

日医生涯教育制度の最近の動き②

日本専門医機構との連携 (専門医の仕組みとの連携)

●4

新たな専門医の仕組みにおける 日本医師会生涯教育制度の活用

- 専門医の認定・更新にあたっては、医の倫理や医療安全、地域医療、医療制度等についても問題意識を持つような医師を育てる視点が重要であり、日本医師会生涯教育制度などを活用することも考えられる。

平成25年4月22日 専門医の在り方に関する検討会報告書

●5

専門医制度整備指針（第1版）

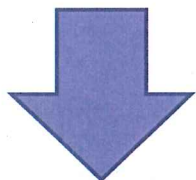
日本専門医機構 2014年7月

専門医の認定・更新に必要な教育研修実績

- ・ **必修のもの**
 - ・ 医療安全(患者の安全と安心)に関するもの
 - ・ 感染対策に関するもの
 - ・ 医療倫理に関するもの
- ・ **望ましいもの**
 - ・ 医師の教育に関するもの
 - ・ 医療事故・医事法制に関する事項
 - ・ 医療経済（保険医療等）に関する事項
 - ・ 臨床研究・臨床試験等に関する事項
 - ・ EBM に基づく医療に関するもの
 - ・ 各専門医制度に含まれる最新の情報
 - ・ 日本医師会の生涯教育講習（方略）

●6

日医と日本専門医機構との交渉結果



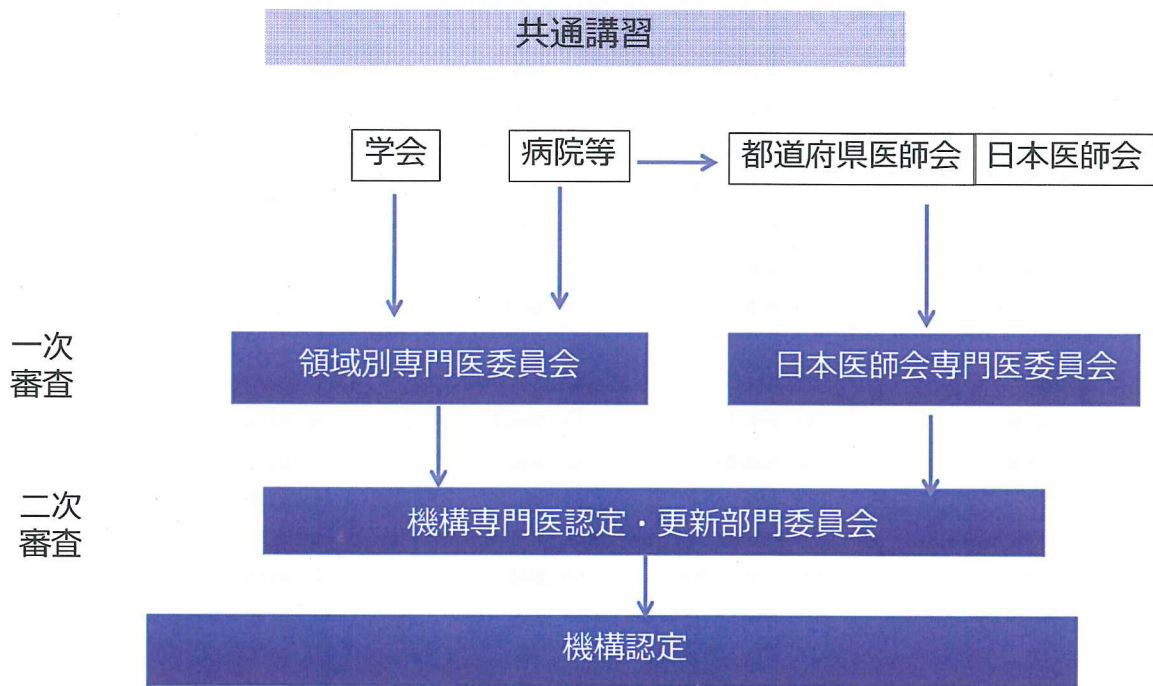
日本各地で開催されている
日医生涯教育制度認定講習会の中で、
一定の要件を満たしたものは、専門医の認定
・ 更新に必要な単位も取得が可能となった。

(平成27年9月7日日本専門医機構平成27年度第三回理事会)

●7

日本専門医機構との連携
(専門医認定・更新のための共通講習単位)

●8



認定証発行(機構：ID番号など)

受講証明書発行(領域別専門医委員会／日医専門医委員会)

(移行期間中は施設による受講証明書も有効)

共通講習単位の円滑な認定申請に向けて

- 平成26・27年度第Ⅷ期生涯教育推進委員会にて、日医生涯教育制度の講習会を日本専門医機構による専門医の認定・更新に必要な共通講習認定講習会として、円滑に申請する方策を検討。その結果、日医生涯教育カリキュラムの一部改訂にむけた検討が了承された。
- 昨年12月「日医生涯教育制度に関するワーキンググループ」を設置し、総論部分(カリキュラムコード1～15)の改訂作業が進められている。

日医生涯教育制度に関するワーキンググループ

委員長：福井次也(聖路加国際病院院長・生涯教育推進委員会委員)

副委員長：尾崎治夫(東京都医師会会長・生涯教育推進委員会副委員長)

委員：江村 正(佐賀大学医学部附属病院准教授)

：倉本 秋(高知医療再生機構理事長・生涯教育推進委員会委員長)

：高木 康(昭和大学病院教授)

：田代志門(国立がん研究センター研究支援センター生命倫理室長)

：前野哲博(筑波大学附属病院教授)

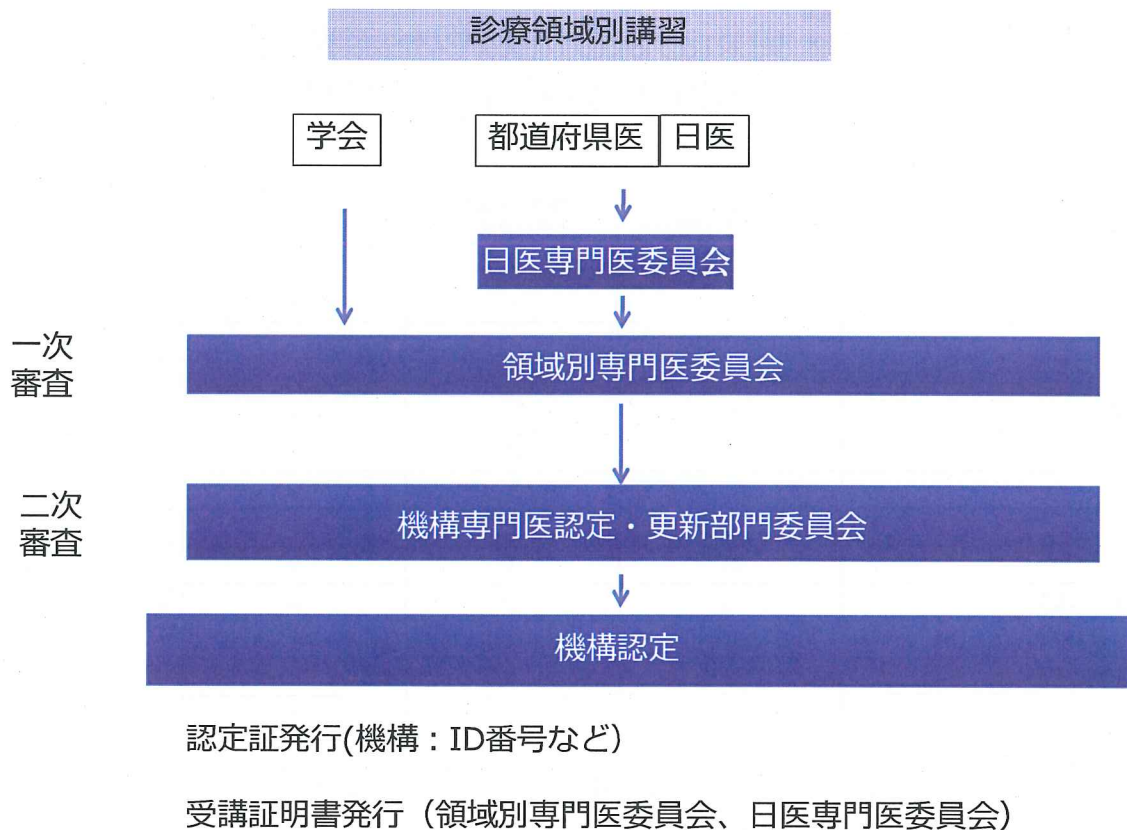
：横山彰仁(高知大学医学部附属病院長)

検討中の日医生涯教育制度カリキュラム

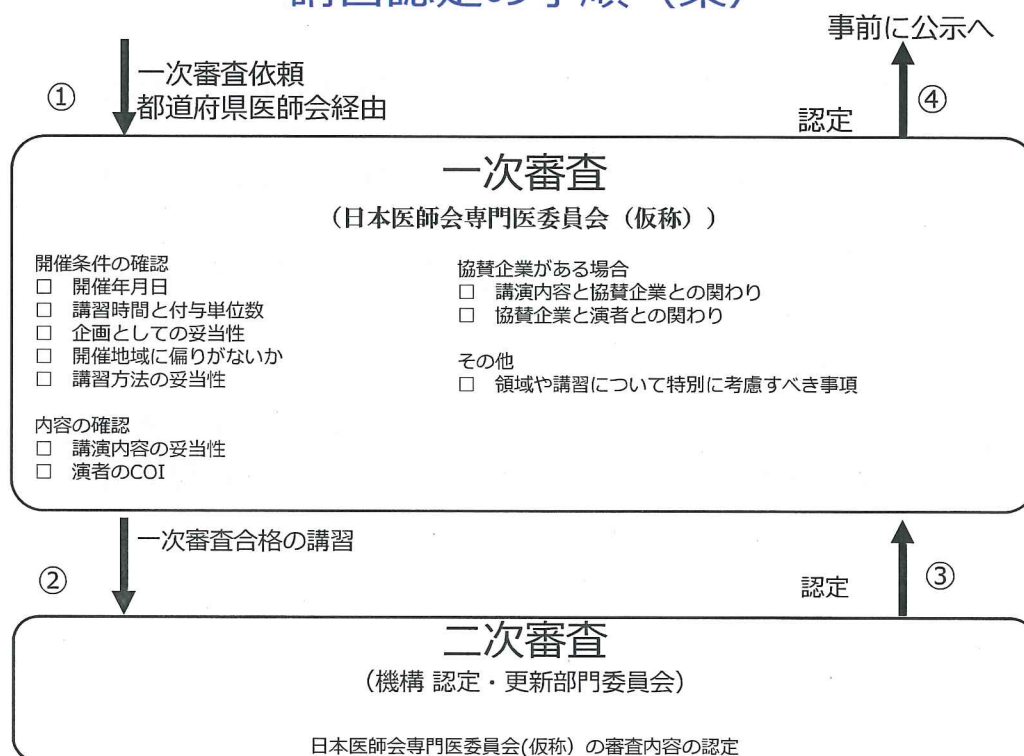
1 医師のプロフェッショナリズム	22 体重減少・るい瘦	43 動悸	64 肉眼的血尿
2 医療倫理：臨床倫理	23 体重増加・肥満	44 心肺停止	65 排尿障害（尿失禁・排尿困難）
3 医療倫理：研究倫理・生命倫理	24 浮腫	45 呼吸困難	66 乏尿・尿閉
4 医師－患者関係とコミュニケーション	25 リンパ節腫脹	46 咳・痰	67 多尿
5 心理社会的アプローチ	26 発疹	47 誤嚥	68 精神科領域の救急
6 医療制度と法律	27 黄疸	48 誤飲	69 不安
7 医療の質と安全	28 発熱	49 嚥下困難	70 気分の障害（うつ）
8 感染対策	29 認知能の障害	50 吐血・下血	71 流・早産および満期産
9 医療情報	30 頭痛	51 嘔気・嘔吐	72 成長・発達の障害
10 チーム医療	31 めまい	52 胸やけ	73 慢性疾患・複合疾患の管理
11 予防と保健	32 意識障害	53 腹痛	74 高血圧症
12 地域医療	33 失神	54 便通異常（下痢、便秘）	75 脂質異常症
13 医療・介護・福祉の連携	34 言語障害	55 肛門・会陰部痛	76 糖尿病
14 災害医療	35 けいれん発作	56 熱傷	77 骨粗鬆症
15 臨床問題解決のプロセス	36 視力障害、視野狭窄	57 外傷	78 脳血管障害後遺症
16 ショック	37 目の充血	58 褥瘡	79 気管支喘息
17 急性中毒	38 聴覚障害	59 背部痛	80 在宅医療
18 全身倦怠感	39 鼻漏・鼻閉	60 腰痛	81 終末期のケア
19 身体機能の低下	40 鼻出血	61 関節痛	82 生活習慣
20 不眠	41 嚔声	62 歩行障害	83 相補・代替医療（漢方医療を含む）
21 食欲不振	42 胸痛	63 四肢のしびれ	0 その他

＝11

日本専門医機構との連携 (専門医認定・更新のための診療領域別講習)



専門医の認定・更新の単位付与対象となる 講習認定の手順（案）



専門医の認定・更新および地域包括診療加算において 申請・届出が必要な研修会情報

	新専門医制度で 届出が必要な項目※1	加算の届出が 必要な項目※2	現在の日医生涯教育制度 集計している項目	
講習年月日	○	○	×	※1 新専門医制度では医の倫理、医療安全、感染対策が必修である。 また、日医生涯教育カリキュラムにおける基本的医療課題の履修が望ましいとされている。
時刻	○	×	×	
都道府県	○	○	×	
会の名称	○	△	×	
講習時間	○	○	×	※2 地域包括診療加算では、高血圧症、糖尿病、脂質異常症、認知症は座学研修が必修である。 また、複数の慢性疾患の指導に係る研修と、服薬管理、健康相談、介護保険、禁煙指導、在宅医療等の主治医機能に関する内容が含まれた継続的な2年間で通算20時間以上の研修が必修である。
受講形態	○	○	×	
講師名	○	△	×	
所属	○	△	×	
演題名	○	×	×	
項目名（CC）	○	○	×	
COI開示有無	○	×	×	
企業共催の有無	○	△	×	
企業名	○	×	×	

**どの領域を何時間、どのような手段で
学習しているか届け出が必要**

●15

生涯教育制度見直しの必要性

現在の日医生涯教育制度

研修会ごとの合計時間による
単位・CCの管理

ex.2時間の研修会の場合、
2単位4CC（CCは自由）

どの領域を何時間学習したか不明

診療報酬算定要件、専門医制度
との連携不可



新しい日医生涯教育制度

時間ごとの単位・CCの管理

「30分間ごとに1CC・0.5単位」
をベースとした実施要綱の見直し

「医師資格証」ともリンク
新しい社会の要請に応える

学習した時間と内容をよりの的確に評価する仕組みへ

●16

学習した時間と内容をよりの確に評価する仕組みへ －主な変更のポイント－

◆ カリキュラムコード・単位付与基準の見直し

講演内容に対応した1カリキュラムコードを30分ごとに指定することとし、各カリキュラムコードの学習時間（単位）を集計します。

◆ 取得単位上限の廃止

1日あたりの単位取得の上限を廃止します。

◆ 講習会管理・学習実績管理・一括申告の支援

上記の変更にも対応した全国で利用できるオンライン研修管理システムを導入します。

◆ 専門医認定・更新への対応の開始

研修管理システムによって日本専門医機構認定講習会の申請が可能となります。

●17

◆ カリキュラムコード・単位付与基準の見直し

講演内容に対応した1カリキュラムコードを30分ごとに指定することとし、各カリキュラムコードの学習時間（単位）を集計します。

- ・従来は、講習会の合計時間を基準としてカリキュラムコードを時間数の2倍付与。
- ・今後は、糖尿病の1時間の講演の場合、前半30分のCCを糖尿病、後半30分のCCも糖尿病となります。結果として“糖尿病（CC76）について1単位学習した”ということが記録されます。

例1：2時間30分の講習会で演題が「高血圧症について」60分、「糖尿病について」60分、「在宅医療について」30分の場合…

旧	2.5単位5CC (例：CC1、2、74、76、80)	➡	新	高血圧症(CC74)を1単位 糖尿病(CC76)を1単位 在宅医療(CC80)を0.5単位
---	--------------------------------	---	---	---

例2：「脂質異常症と糖尿病」1時間30分の講演の場合…

旧	1.5単位3CC (例CC1、75、76)	➡	新	脂質異常症(CC75)を0.5単位(30分)とし 糖尿病(CC76)を1単位(1時間)とする。 または 脂質異常症(CC75)を1単位(1時間)とし 糖尿病(CC76)を0.5単位(30分)とする。 なお、単位数の配分は、実際の講演内容や講習会の趣旨(集中講座など)に応じて主催者が決定できる。
---	--------------------------	---	---	--

30分ごと、とは...

どの領域を何時間学習したかを集計するため

CCを指定する時間の区切りが必要。

ex.15分ごと、30分ごと、60分ごと...



日医生涯教育制度、専門医の認定・更新、
地域包括診療加算において、学習時間1時間=1単位



一方で...

講習会企画の自由度や多様性を維持したい
(1時間を最小単位とすると、全ての講演時間を1時間単位に
設定しなければならなくなり、講習会開催に制約も)



最小単位を30分

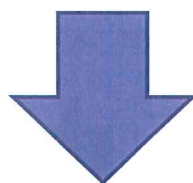
30分ごとに指定のCCを0.5単位付与する

~~講演時間を30分としなければならない~~

●19

◆講習会管理・学習実績管理・一括申告の支援

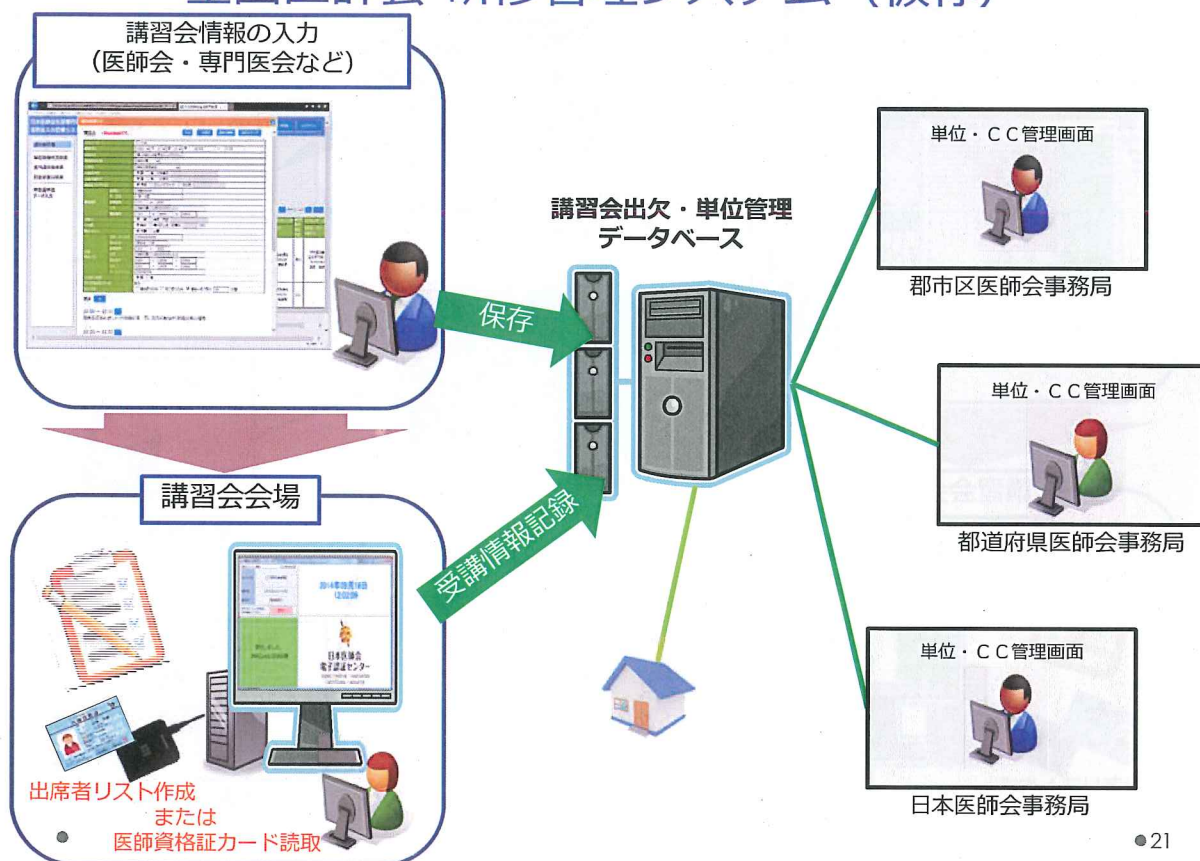
◆専門医認定・更新への対応の開始



全国で利用できる
オンライン研修管理システムの導入

●20

全国医師会 研修管理システム（仮称）



講習会開催が決まったら…

講習会受付入力

講習会 * ●印は必須項目です。

申請 一時保存 講習会印刷 講習会クリア

講習会中止 ☐ 中止

開催日時 ● 2015 年 11 月 25 日 10:00 ~ 15:00

講習会名 ● 第144回日本生化学会シンポジウム

開催都道府県 ● 神奈川県

主催者 ● 神奈川県医師会

共催者有無 ● 無 ☐ 有 ☐ 共催者名

企業共催有無 ● 無 ☐ 有 ☐ 企業名

講習会等の形式別 ● 講座 ☐ グループワーク ☐ その他

開催場所 ● 会場名 神奈川県XXX 3階 A室

● 参考番号 123 - 4567

住所 ● 神奈川県〇〇市XXXXXX-1-2-3

● 車記番号 123 - 4567 - 8901

対象者 ● 一般 ☐ 限定 ☐ 内容

参加費 ● 無料 ☐ 有料または一部有料 (円)

● 不要 ☐ 必要

主催・会社名等 ● XXXXXXXXXXXXX

担当 ● 担当名 一郎

● 参考番号 000 - 0000

住所 ● 神奈川県〇〇市XXXXXX-0-0

● 車記番号 000 - 0000 - 0000

FAX 000 - 0000 - 0000

メールアドレス ● XXX@XXX

COI表示有無 ● 無 ☐ 有 ☐

資料印刷機に付中道 ● あり

発行履歴 ● ☐ 開始受付のみ ☐ 終了受付のみ ● ☐ 開始+終了受付 60 (分間)

講習会受付入力

演題 *

10:00 ~ 10:30

臨床応用をめざしたiPS細胞研究 真に応用可能なiPS細胞技術の開発

●印は必須項目です。

2015 年 11 月 25 日 10:00 ~ 10:30

単位合計: 0.5 (開催時間から自動的に算出されます)

カリキュラムコード (4) 選択 → 最新のカリキュラムを選択 0.5 単位

演題名 ● iPS細胞を用いたiPS細胞研究

講師氏名 ● 山田太郎 講師

講師名 ● 講師 太郎

所属機関 ● 〇〇大学

発表形式 ● 〇 講演 〇 専門発表 講演

発表形式詳細 ●

10:30 ~ 11:00

iPS細胞由来幹細胞創製の研究

●印は必須項目です。

2015 年 11 月 25 日 10:30 ~ 11:00

単位合計: 0.5 (開催時間から自動的に算出されます)

カリキュラムコード (4) 選択 → 最新のカリキュラムを選択 0.5 単位

演題名 ● iPS細胞由来幹細胞創製の研究

講師氏名 ● 〇〇 教授

講師名 ● 講師 太郎

所属機関 ● 〇〇大学

発表形式 ● 〇 講演 〇 専門発表 講演

発表形式詳細 ●

11:00 ~ 11:30

iPS細胞から臓器へ、iPS細胞から臓器を創る

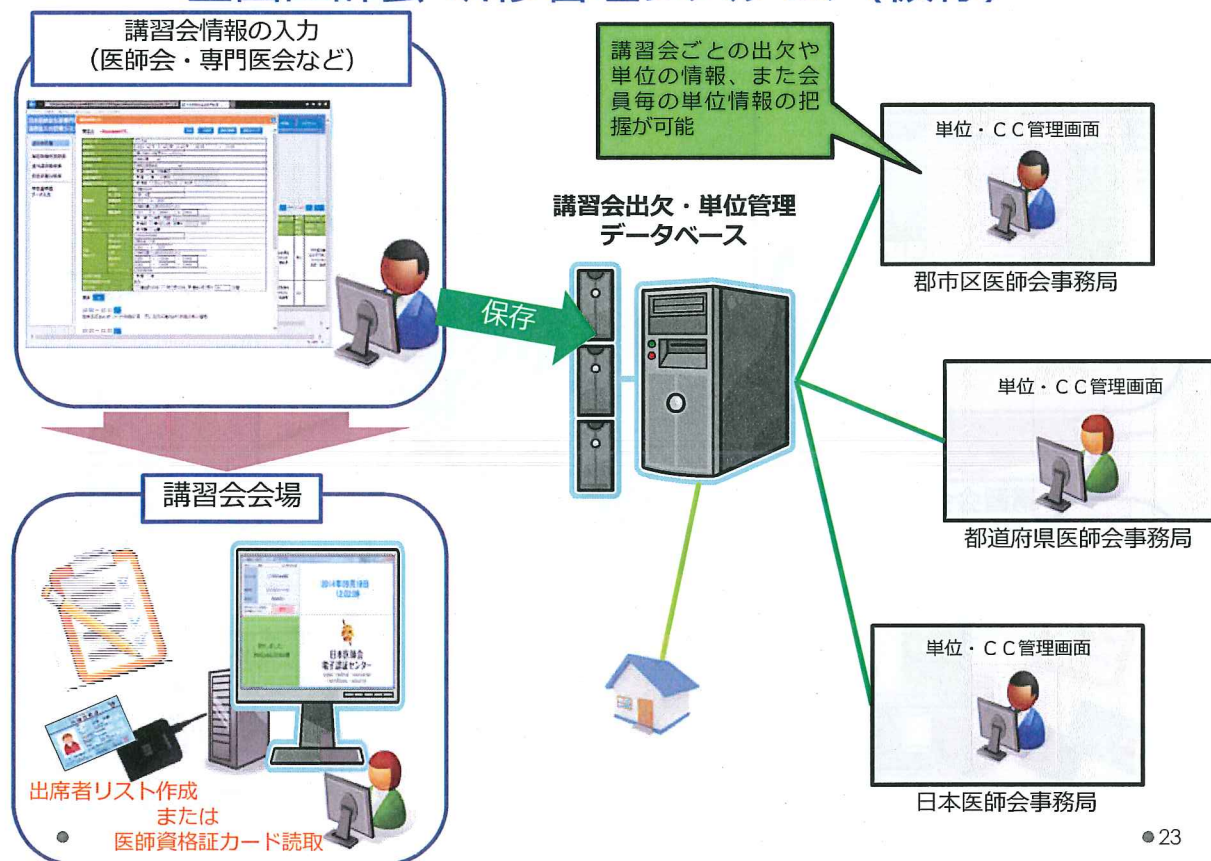
講習会情報の入力

※画面はイメージです

※画面はイメージです

醫師會事務局

全国医師会 研修管理システム（仮称）



●23

講習会出席者の受講情報の記録

受講実績入力

開催日時	講習会名	主催者	カリキュラム コード (単位)
2015/11/25(水) 10:00~15:00	第144回 日本医学会シンポジウム	〇〇市医師会	4 (0.5単位) 7 (0.5単位) 8 (0.5単位) 19 (0.5単位) 30 (0.5単位) 36 (0.5単位) 43 (0.5単位) 62 (0.5単位) 合計: 4.0単位

新規 変更 削除 CSV入力 受講時間一括入力 受講時間変更

<< < ページ: 1/1 > >>

氏名(漢字)	氏名(カナ)	所属	都道府県 医師会	郡市区 医師会	受講時間
9999999999 医師 太郎	イシ タロウ		神奈川県	鎌倉市	09:54~15:03
0000000001 医師 一郎	イシ イチロウ		神奈川県	鎌倉市	09:59~15:11
0000000002 医師 二郎	イシ シロウ		神奈川県	鎌倉市	10:00~15:00
0000000003 医師 三郎	イシ サブロウ	〇〇病院	神奈川県	鎌倉市	10:00~14:00
0000000004 医師 四郎	イシ シロウ	△△病院	神奈川県	鎌倉市	10:00~15:00
0000000005 医師 五郎	イシ ゴロウ	△△病院	神奈川県	鎌倉市	10:00~15:00
0000000006 医師 六郎	イシ ロクロウ	××病院	神奈川県	鎌倉市	10:00~15:00
0000000007 医師 七郎	イシ シチロウ	〇〇病院	神奈川県	鎌倉市	10:00~15:00
0000000008 医師 八郎	イシ ハチロウ	〇〇病院	神奈川県	鎌倉市	10:00~14:00
0000000009 医師 九郎	イシ クロウ	××病院	神奈川県	鎌倉市	10:00~14:00

10件中 1-10件

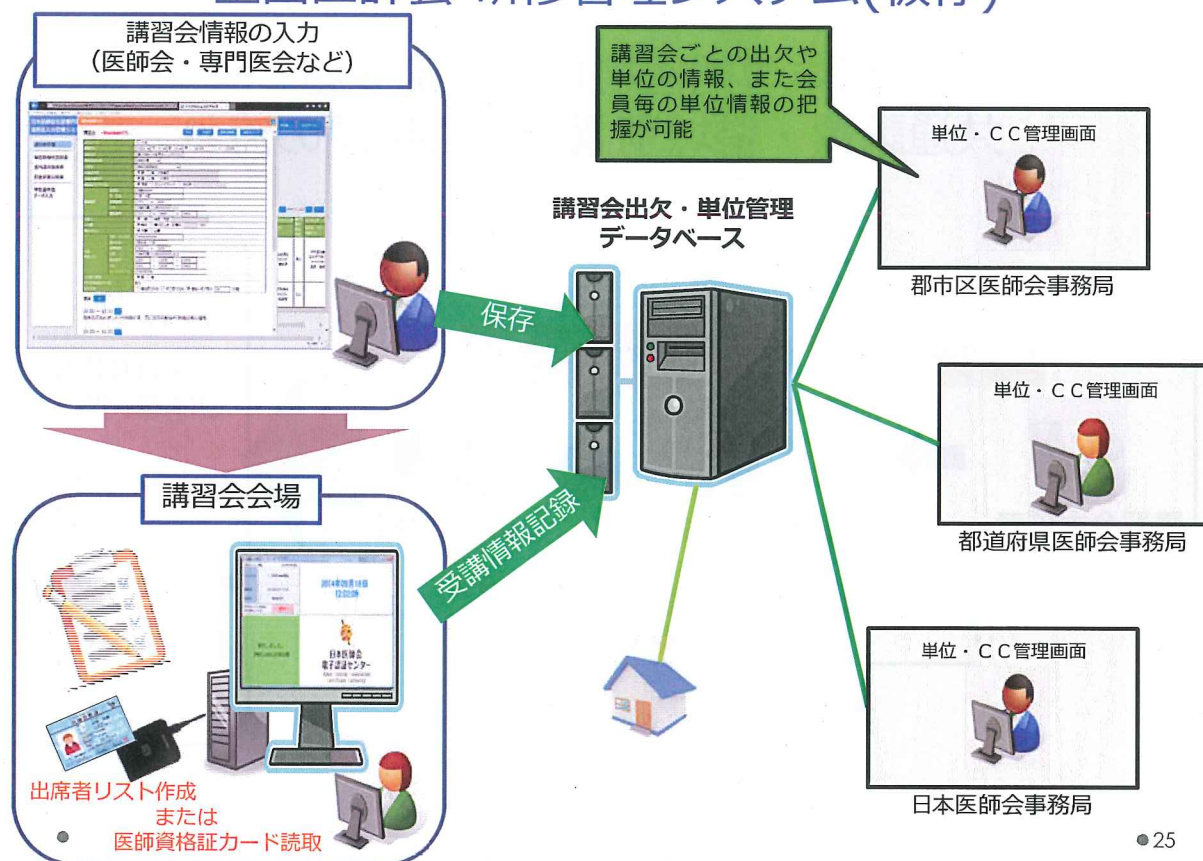
医師資格証を持っていない医師の場合、事務局で空白部分を入力します

※画面はイメージです

- 医師資格証を持っていない出席者は、講習会会場もしくは後日、主催する事務局が管理画面のなかで受付時間等を入力することで一括した管理が可能
- 医師資格証を持っている出席者は、講習会当日の受付で自動登録が完了する。

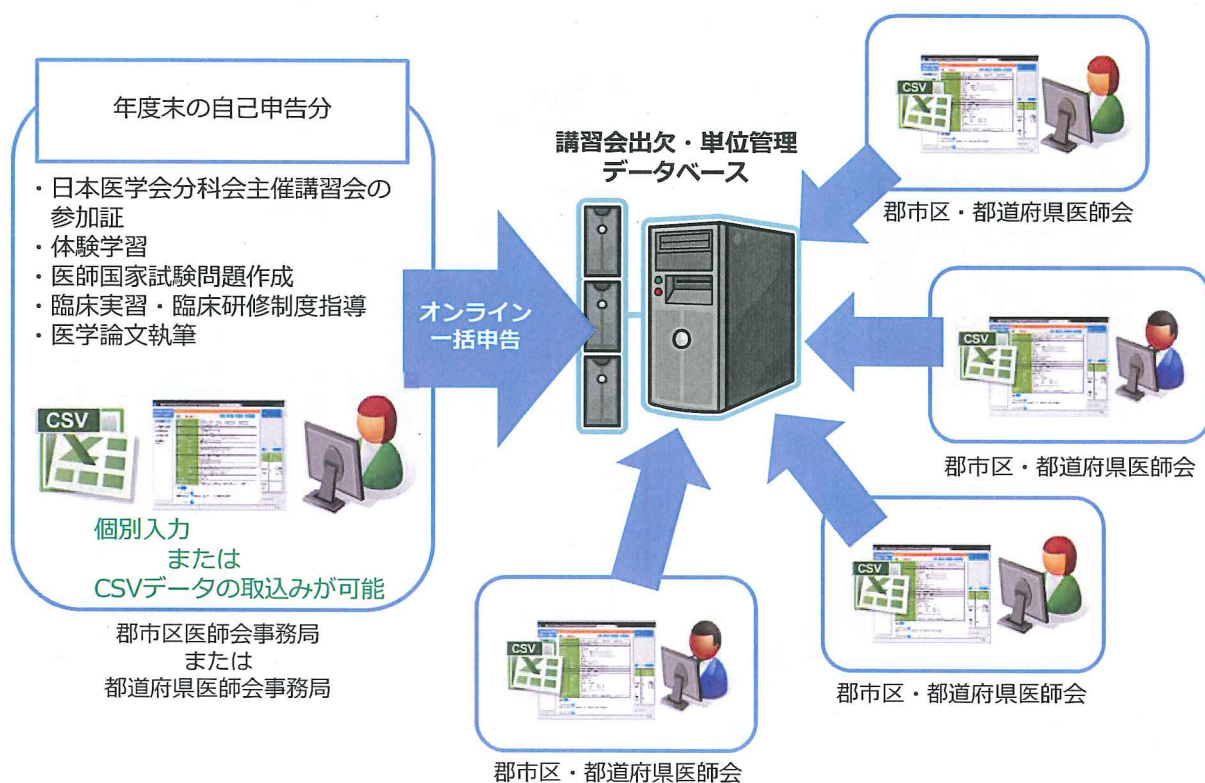
●24

全国医師会 研修管理システム(仮称)



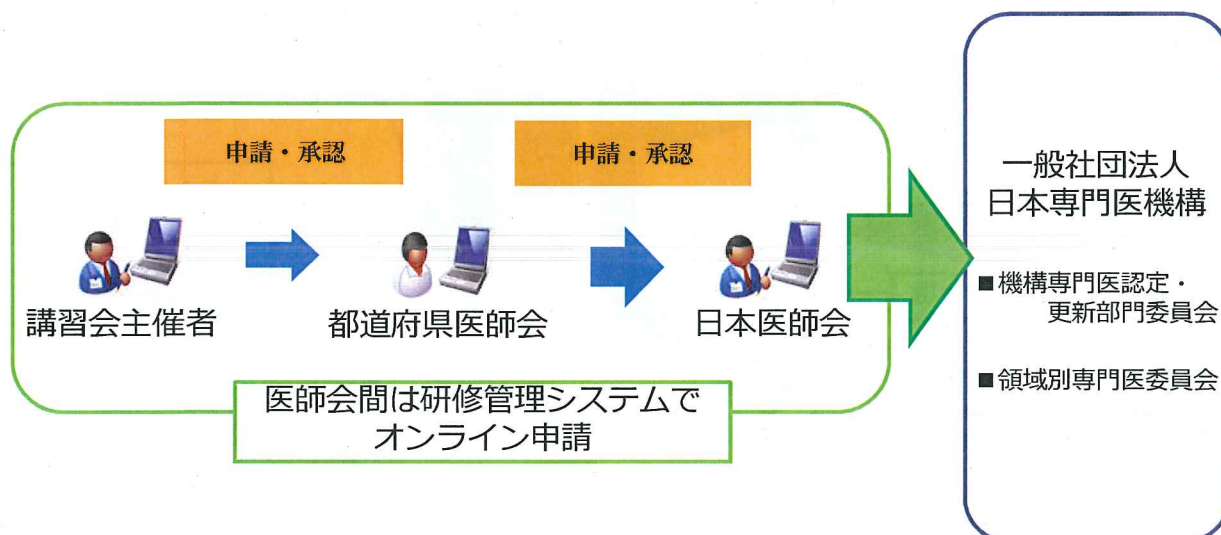
● 25

全国医師会 研修管理システム(仮称)



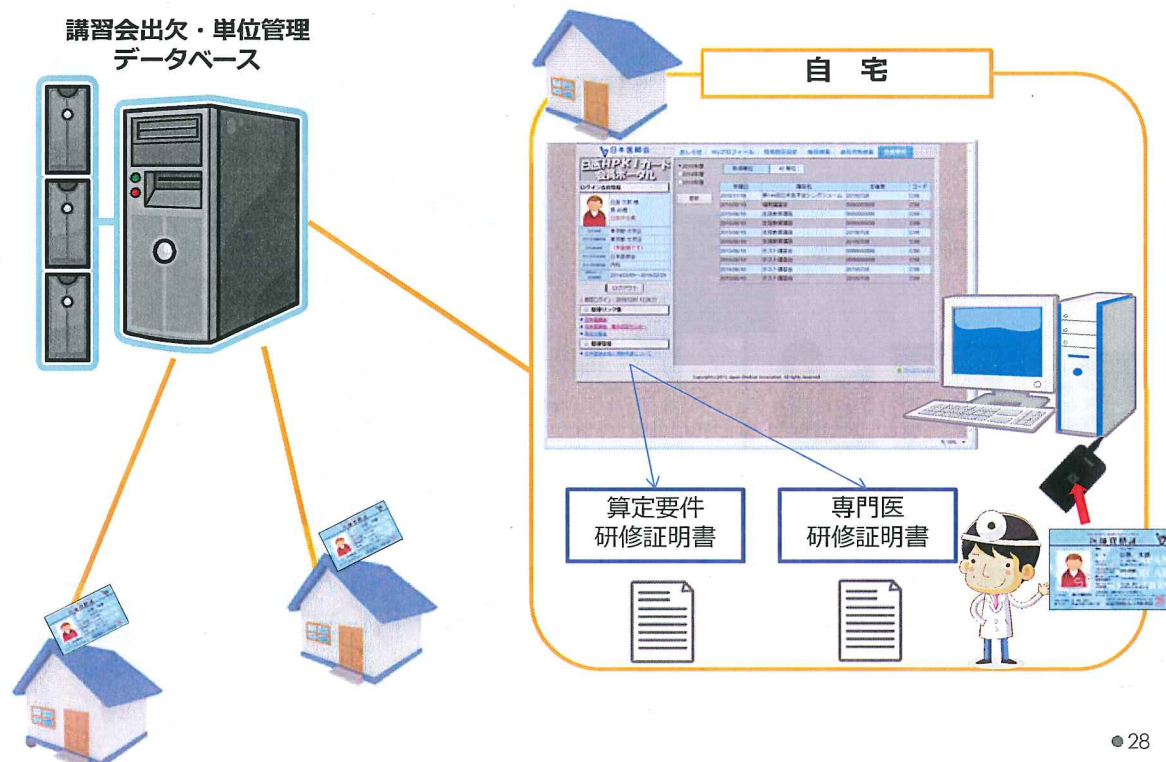
● 26

日本専門医機構が認定する 共通講習・領域別講習への申請の流れ



● 27

医師資格証を持っている医師は、 自宅で受講履歴のリアルタイム確認が可能



● 28

